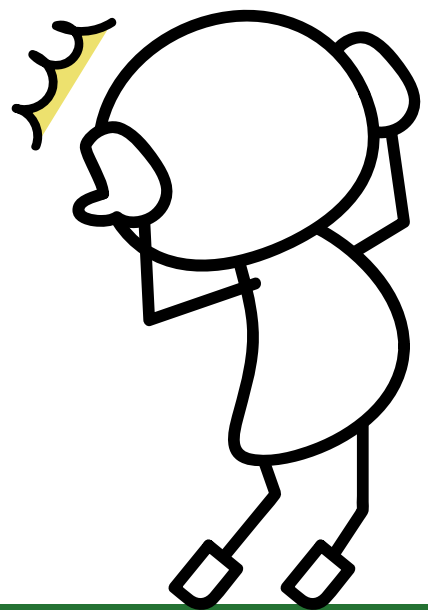


令和 8 年度

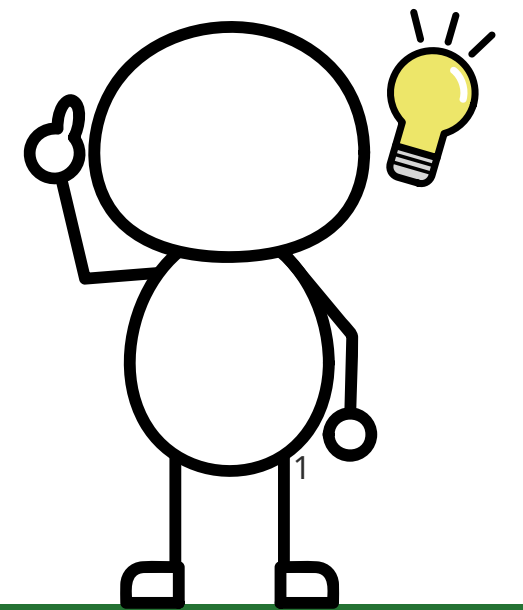
授業の改善・充実に向けた説明会 II

～各種学力調査の結果を踏まえた授業づくりを目指して～

小学校 社会



山梨県総合教育センター
Yamanashi Prefectural Education Center



小学校社会の内容



全体概要



見えた課題は？

課題のある設問から見えた課題をお伝えいたします



インタラクション①

ポイント①

資料の読み取りの技能指導していますか？



インタラクション②

ポイント②

概念の獲得を目指していますか？

山梨県教育課程実施状況調査【CBT調査】について

東京書籍株式会社

学びをもっとスマートに! もっと楽しく! /

標準学力調査 CBT

https://www.tokyo-shoseki.co.jp/spf/hyoujun_cbt/index.html



【目的】

全国学力・学習状況調査に準じ、
学習指導の改善・充実に役立てる。

【IRT・LRTについて】

CBTによる学力調査では、より
正確な学力指標を得るためのテスト
設計がなされています。テスト
理論である

「IRT：Item Response Theory
(項目反応理論)」

「LRT：Latent Rank Theory
(潜在ランク理論)」

を活用することで、受検者の学力
を適切に評価し、個々の強みや弱
点を把握します。

【IRT・LRTの考え方】

	問題1	問題2	問題3	問題4	問題5	IRT 能力値	LRT レベル
	易	易	普通	難	難		
Aさん	○	○	○	×	×	57.5	3
Bさん	×	×	○	○	○	65.5	4

IRT と LRT の特徴は、受検者の正答・誤答が、**問題の特性（難易度等）** によるのか、**受検者の学力**によるのかを区別して、受検者の学力を算出できることにあります。

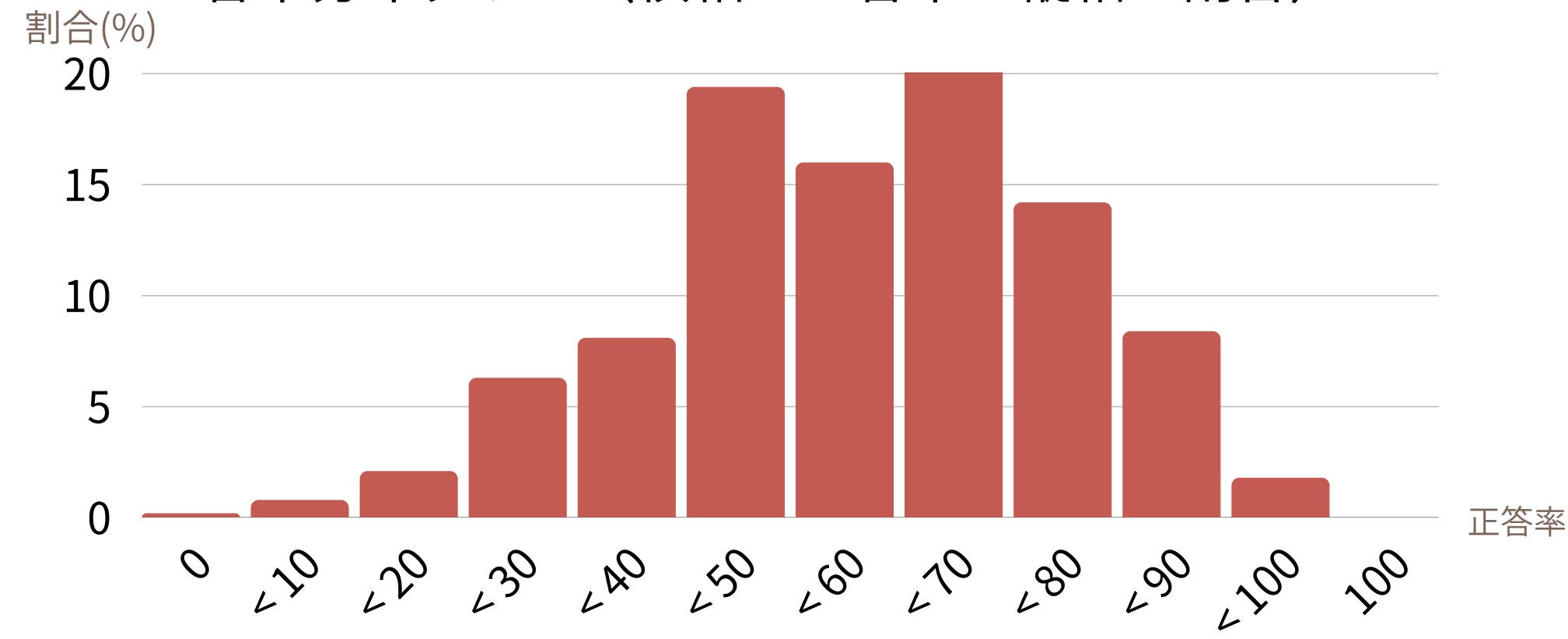
- ・ **正答率** … 全問題のうち、受検者が正答した問題数の割合
- ・ **IRT・LRT** … 問題の難易度と正答・誤答のパターンによる、
学力の質的な差異

同じ正答率でも、この「IRTによって推定された能力値」の値が異なる場合があります。これは、どの難易度の問題に正答したのか、という個々の正答・誤答のパターンから見ると、**学力が同じではない**、ということを意味しています。

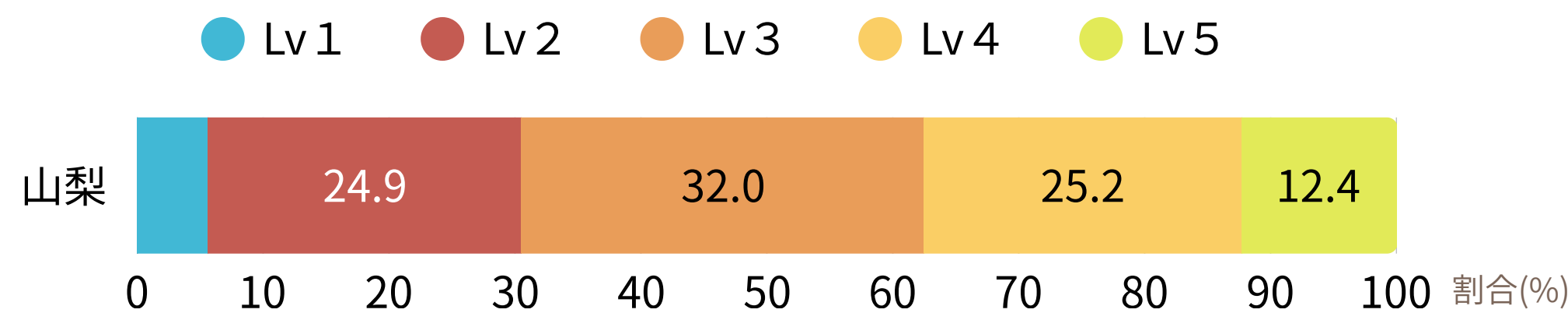
同様に、LRTに基づいて1～5の学力段階を「レベル」として算出します。こちらも同様に、**同じ正答率でも「レベル」が異なる**場合があります。

山梨県教育課程実施状況調査（小・社会、CBT調査）の結果概要①

正答率分布グラフ（横軸：正答率 縦軸：割合）



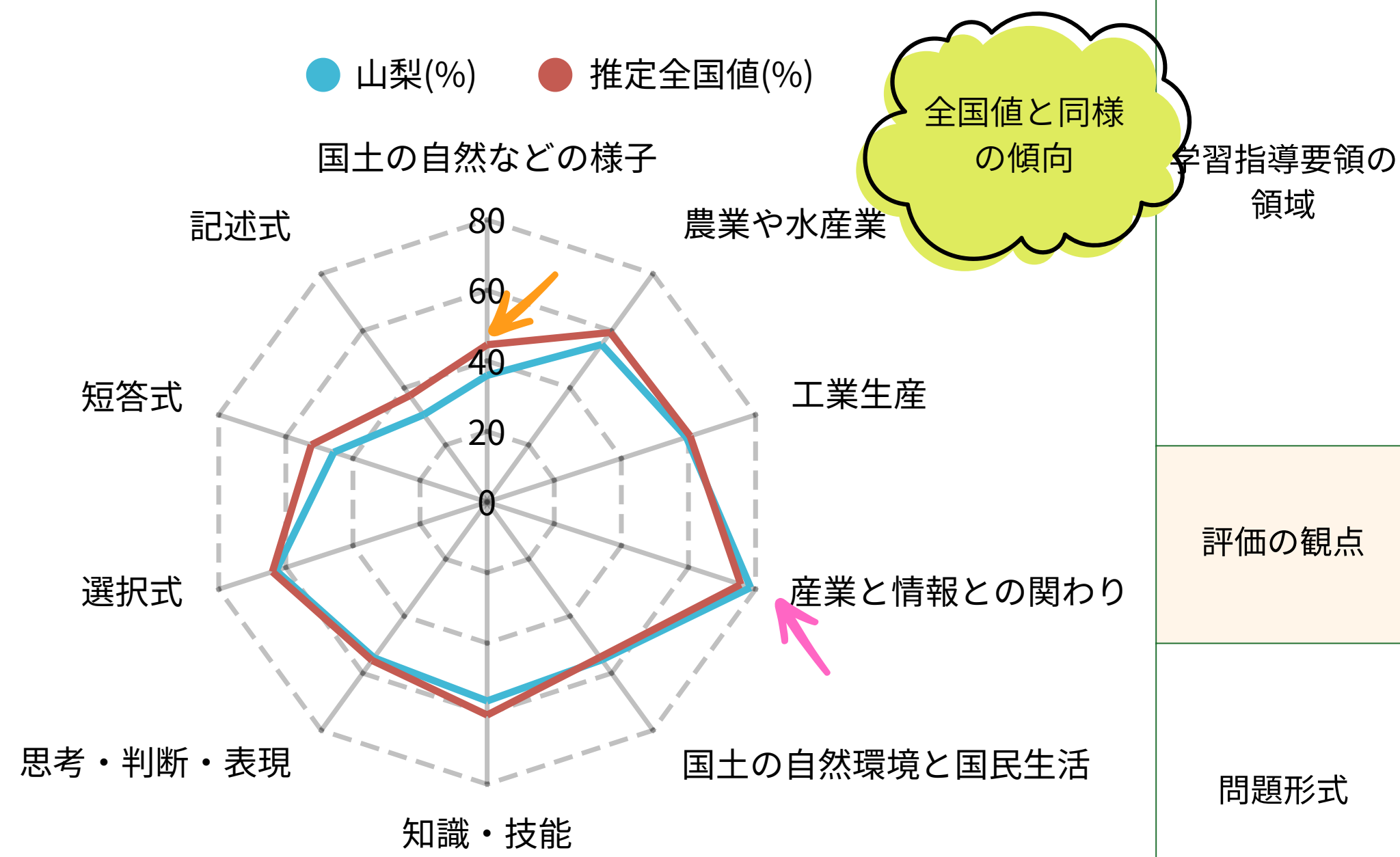
レベル(Lv)別人数比のグラフ（レベルは業者設定）



正答率	生徒数(人)	割合(%)
100	0	0.0
< 100	11	1.8
< 90	51	8.4
< 80	86	14.2
< 70	138	22.7
< 60	97	16.0
< 50	118	19.4
< 40	49	8.1
< 30	38	6.3
< 20	13	2.1
< 10	5	0.8
0	1	0.2
計	607	100

山梨県教育課程実施状況調査（小・社会、CBT調査）の結果概要②

領域・評価の観点・問題形式ごとの正答率グラフ



分類	区分	山梨(%)	推定全国値(%)	全国との差(ポイント)
学習指導要領の領域	国土の自然などの様子	35.9	44.6	-8.7
	農業や水産業	55.2	59.4	-4.2
	工業生産	59.4	60.5	-1.1
	産業と情報との関わり	78.5	75.6	2.9
	国土の自然環境と国民生活	55.3	54.4	0.9
評価の観点	知識・技能	56.4	60.4	-4.0
	思考・判断・表現	54.6	55.5	-0.9
問題形式	選択式	62.9	64.0	-1.1
	短答式	45.7	52.4	-6.7
	記述式	30.6	37.3	-6.7

山梨県教育課程実施状況調査（小・社会、CBT調査）の結果概要③-1

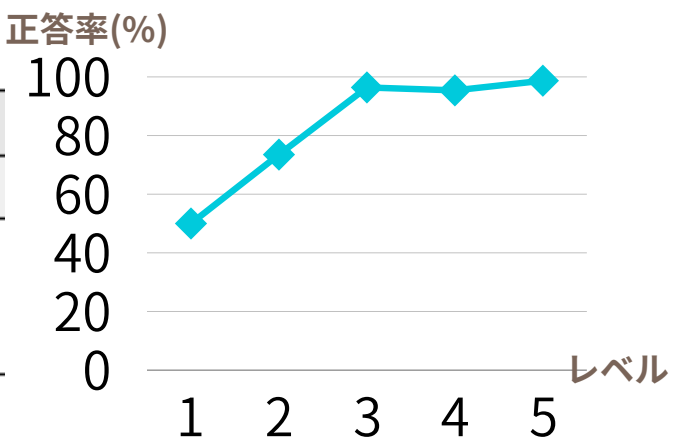
学習指導に当たって

※ 「レベル別正答率」とは、教科ごとの結果に応じた1～5のレベルに所属する集団ごとの平均正答率を算出したものです。（「レベル別人数比」は、前々ページを参照）

【よくできている設問】

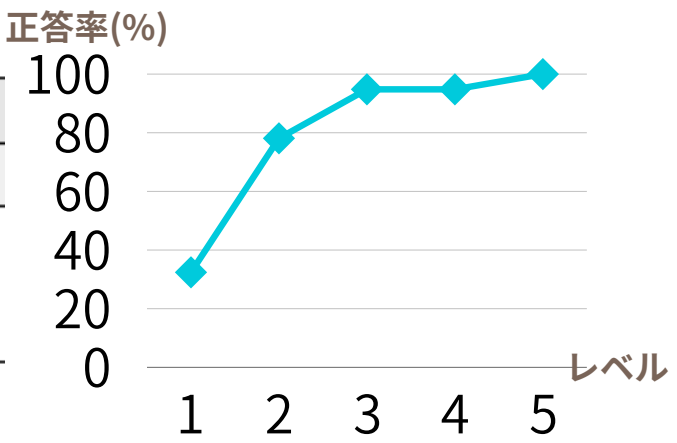
通し 番号	解答 形式	観点		問題の内容	出題のねらい	県平均正 答率(%)	レベル別正答率(%)				
		知	思				1	2	3	4	5
7	選択	○		日本の農業	米の作付面積について、資料を読み取っている。	88.1	50.0	73.5	96.4	95.4	98.7

日本の米作りが、北海道や東北地方で特にさかんであることを地図から読み取れている児童が多く見られた。米作りについての基礎知識が身についてることに加え、地図が色分けされている読み取りやすい資料であったことが要因と考えられる。



通し 番号	解答 形式	観点		問題の内容	出題のねらい	県平均正 答率(%)	レベル別正答率(%)				
		知	思				1	2	3	4	5
26	選択	○		情報を生かした産業	さまざまなメディアの特色について理解している。	87.8	32.4	78.1	94.8	94.8	100

4種類のマスメディア（新聞・ラジオ・インターネット・テレビ）の特徴について理解できている児童が多く見られた。日常生活経験と関連づけられる設問内容であり、選択式であったことが要因と考えられる。



山梨県教育課程実施状況調査（小・社会、CBT調査）の結果概要③-2

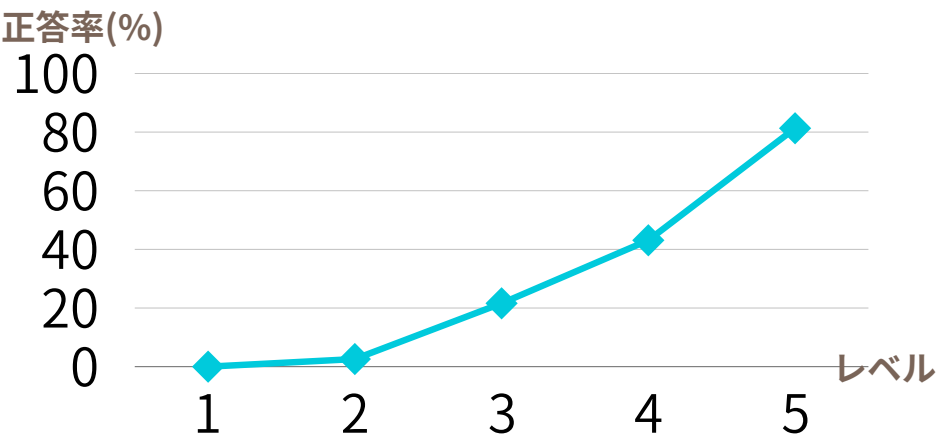
学習指導に当たって

※ 「レベル別正答率」とは、教科ごとの結果に応じた1～5のレベルに所属する集団ごとの平均正答率を算出したものです。（「レベル別人数比」は、前々ページを参照）

【課題がある設問】

通し 番号	解答 形式	観点		問題の内容	出題のねらい	県平均正 答率(%)	レベル別正答率(%)				
		知	思				1	2	3	4	5
5	記述		○	日本の国土と人々の暮らし	資料に着目して、日本海側の気候で冬に降水量が多い理由を捉え、表現している。	15.0	0.0	2.6	21.6	43.1	81.3

日本の国土の様子と国民生活について、例えば、「日本の地形や気候にはどのような特色があるか」等の問いを設けて、個々の児童が、国土の特色を調べ白地図等にまとめたり、国土の自然環境と国民生活の関連を考えたりするなど、調べたことや考えたことを表現する活動を取り入れ、日本の国土の地形や気候の概要について理解を目指すような展開が考えられる。また、社会的事象について調べまとめる技能を踏まえ、グラフや表の読み取りやそれらから読み取った内容を他の資料（地図や統計等）と関連付けて考えられるように、継続的な指導が大切である。



山梨県教育課程実施状況調査（小・社会、CBT調査）の結果概要③-3

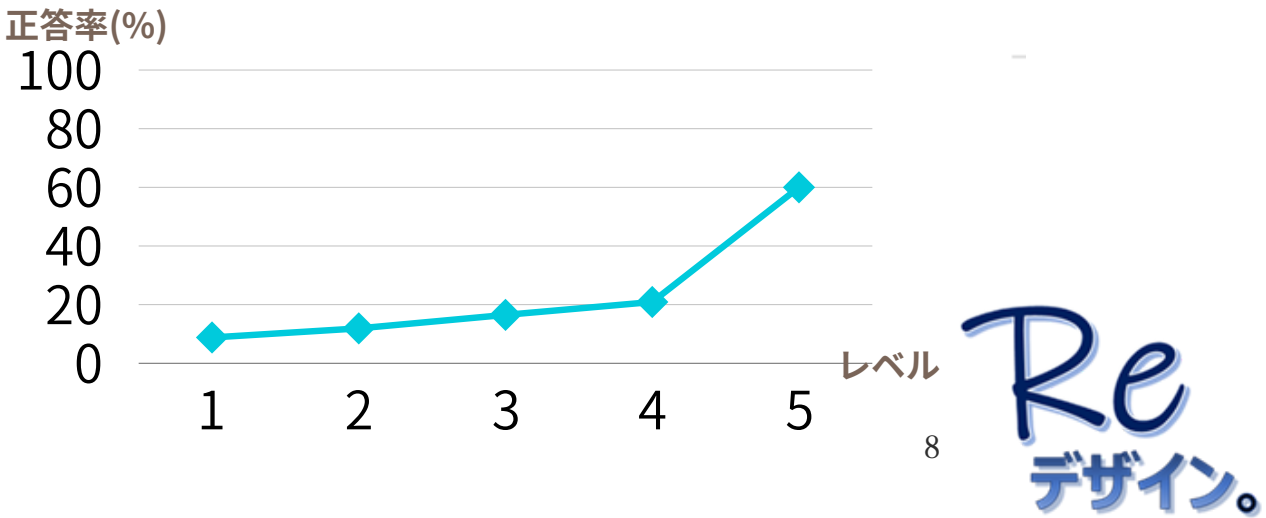
学習指導に当たって

【課題がある設問】

※ 「レベル別正答率」とは、教科ごとの結果に応じた1～5のレベルに所属する集団ごとの平均正答率を算出したものです。（「レベル別人数比」は、前々ページを参照）

通し 番号	解答 形式	観点		問題の内容	出題のねらい	県平均正 答率(%)	レベル別正答率(%)				
		知	思				1	2	3	4	5
13	選択	○		日本の水産業	日本の漁業別生産量の変化の資料を読み取っている。	21.4	8.8	11.9	16.5	20.9	60.0

日本の水産業について、例えば、「日本の食料生産にはどのような特色や課題があるか」等の問いを設けて、個々の児童が、水産業における生産量の変化等に着目しながら、これまでの水産業について調べ、考えたことを表現することを通して、日本の水産業を含めた食料生産の役割や特色の概要について理解を目指すような展開が考えられる。食料生産に携わる人々の工夫や努力等を、その土地の自然条件や需要を関連付けて考えたりして、調べたことを表現するような活動も大切にしたい。また、この設問においても会的事象について調べまとめる技能の指導が重要となる。



山梨県教育課程実施状況調査（小・社会、CBT調査）の結果概要③-4

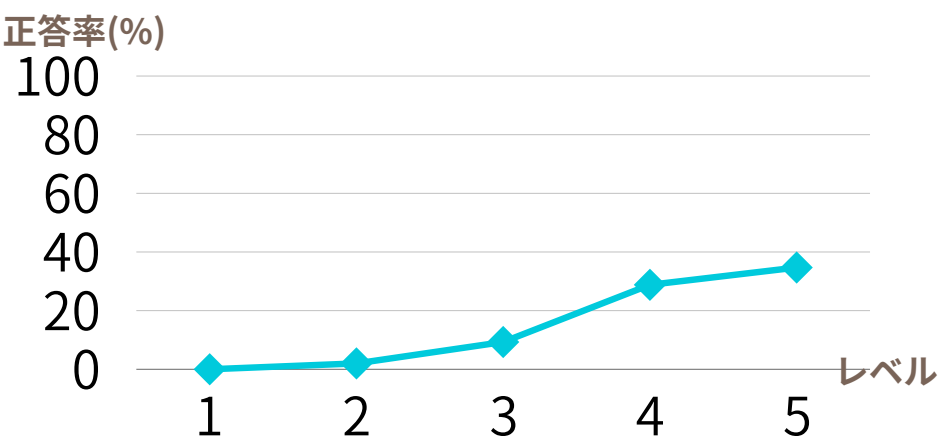
学習指導に当たって

※ 「レベル別正答率」とは、教科ごとの結果に応じた1～5のレベルに所属する集団ごとの平均正答率を算出したものです。（「レベル別人数比」は、前々ページを参照）

【課題がある設問】

通し 番号	解答 形式	観点		問題の内容	出題のねらい	県平均正 答率(%)	レベル別正答率(%)				
		知	思				1	2	3	4	5
34	記述		○	工業生産と貿易	資料に着目して、工業がさかんな地域の特色や背景を捉え、表現している。	15.0	0.0	2.0	9.3	28.8	34.7

我が国の工業生産の概要について、例えば、「日本の中で工業が盛んな地域はどこか、またそれはなぜか」等の問いを設けて工業の種類や工業が盛んな地域の分布等に着目して調べ、自然条件やその地域で盛んな工業の種類等を関連付けて、我が国では様々な工業生産が行われ、工業製品が国民生活の向上に役立っていることなどを文章やレポート等にまとめ、表現するような展開が考えられる。単に「工業の盛んな地域は海沿いに多い」などの表面的な理解だけでなく、「なぜ海沿いに多いのか」「自然条件以外の条件との関連」等に着目した上で、背景となる事象を関連付けて捉えられるようにしたい。



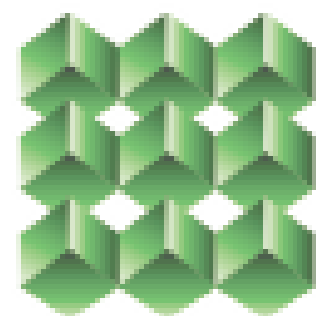
授業の改善・充実に向けた

ポータルサイト公開中！

PC、タブレット、スマホからも視聴可能
授業づくりのヒントに活用してみませんか

- 総合教育センターでは、令和7年度より「授業の改善・充実に向けたポータルサイト」を作成
- 令和8年度も、授業の改善・充実に向けた情報を配信していく予定

<https://sites.google.com/ypecken.kai.ed.jp/jugyoukaizen/top>

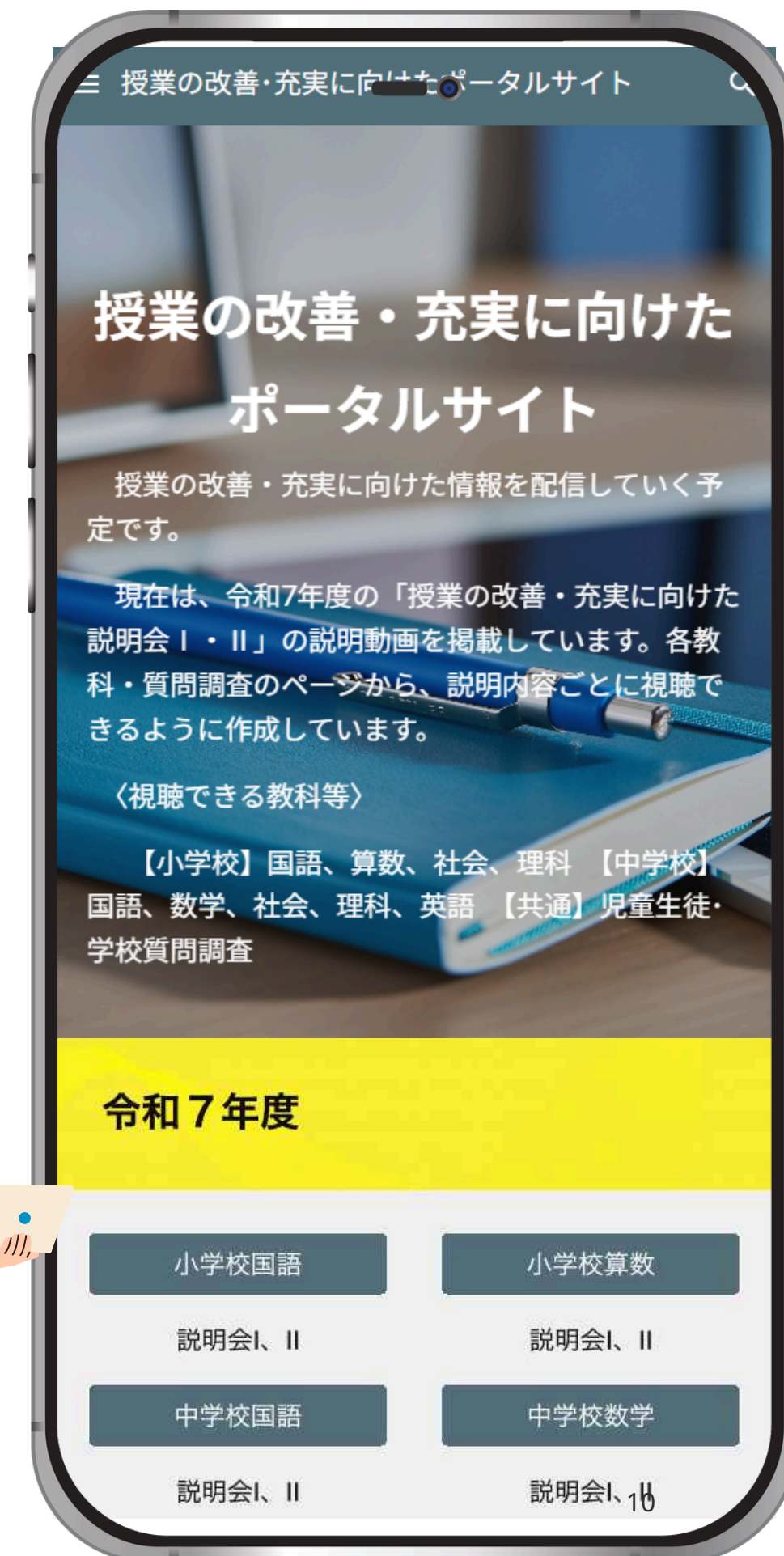


山梨県総合教育センター

Yamanashi Prefectural
Education Center

Re
デザイン。

学校教育支援部
調査研究課



小学校社会の内容



全体概要



見えた課題は？

課題のある設問から見えた課題をお伝えいたします



ポイント①

資料の読み取りの技能指導していますか？



ポイント②

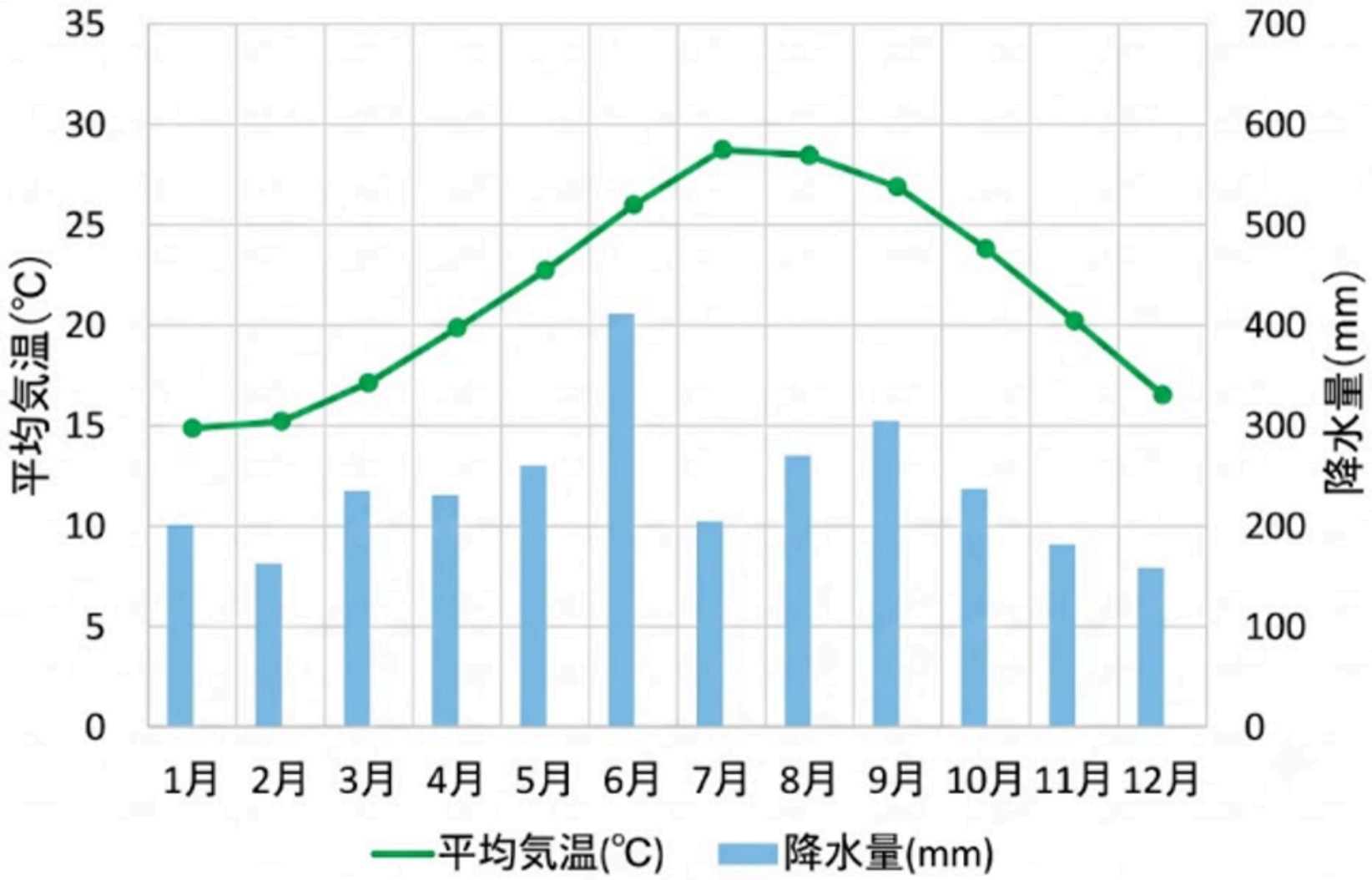
概念の獲得を目指していますか？

次の資料 1 は奄美市と台風の月別の主な経路を、資料 2 は奄美市の1991年～2020年における平年値の雨温図を示している。資料 2 から分かる降水量の特徴の原因を、資料 1 と関連付けて説明しましょう。

資料 1



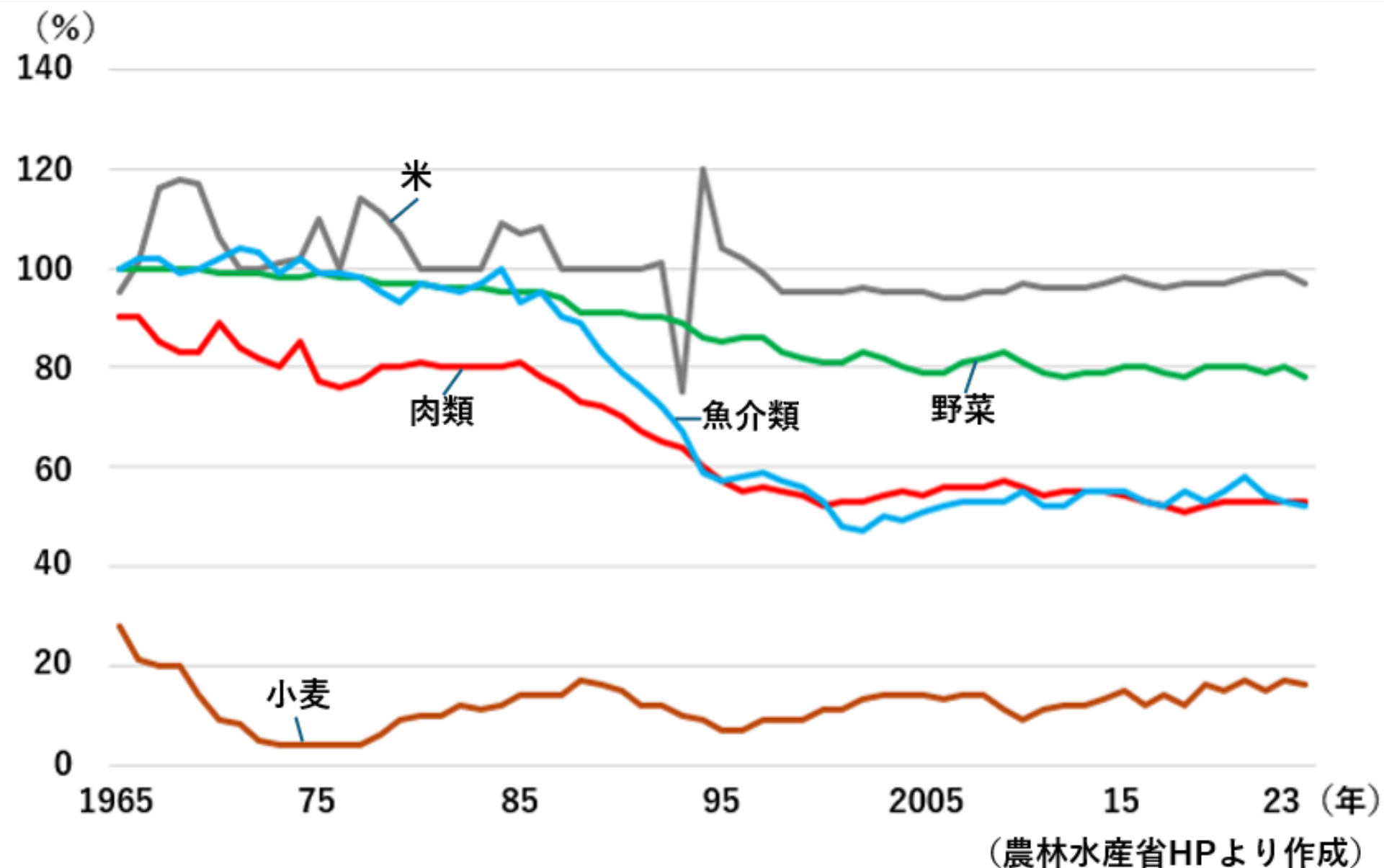
資料 2



(資料 1 ・ 2 とともに気象庁 H P より作成)

ももこさんは、日本の農業について次の資料を見つけました。資料から読み取れることとして正しいものを、1～4から2つ選びましょう。

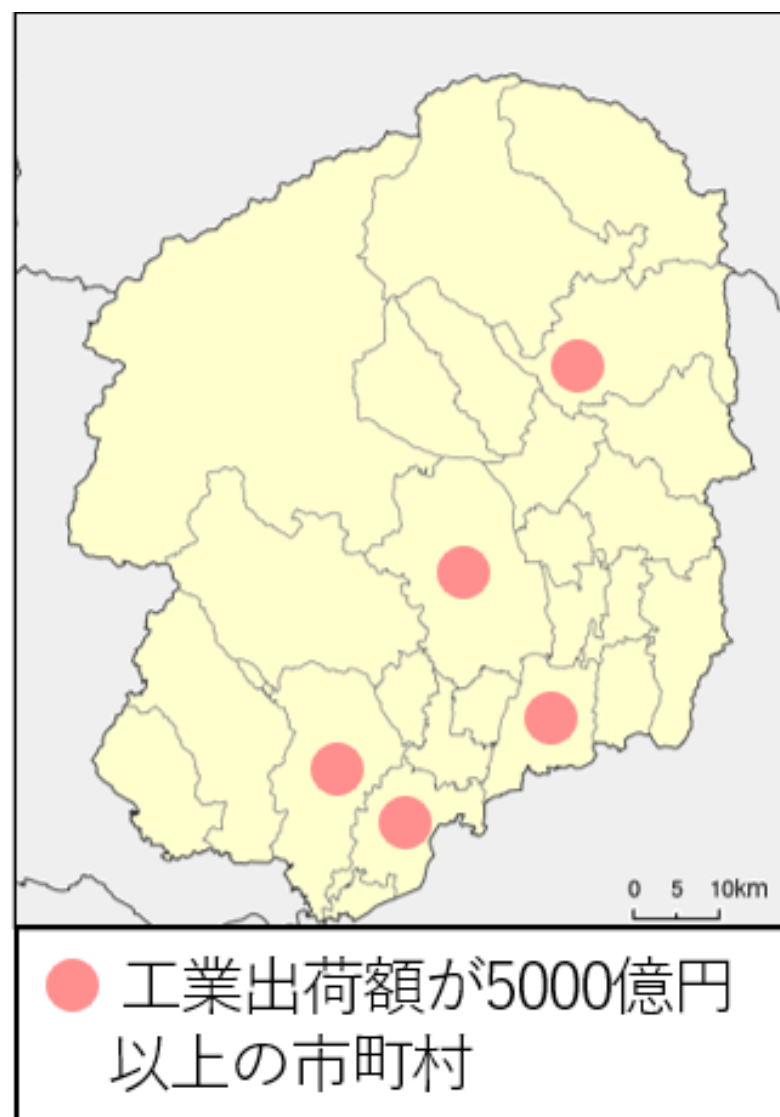
日本の品目別食料自給率の変化



- 1 1980年代後半から、魚介類の自給率が急激に減っている
- 2 2023年の自給率が、1965年よりも多いのは肉類だけである
- 3 2023年の自給率が、1965年と比べて最も減っているのは小麦である
- 4 1995年に2番目に自給率が高かったのは野菜である

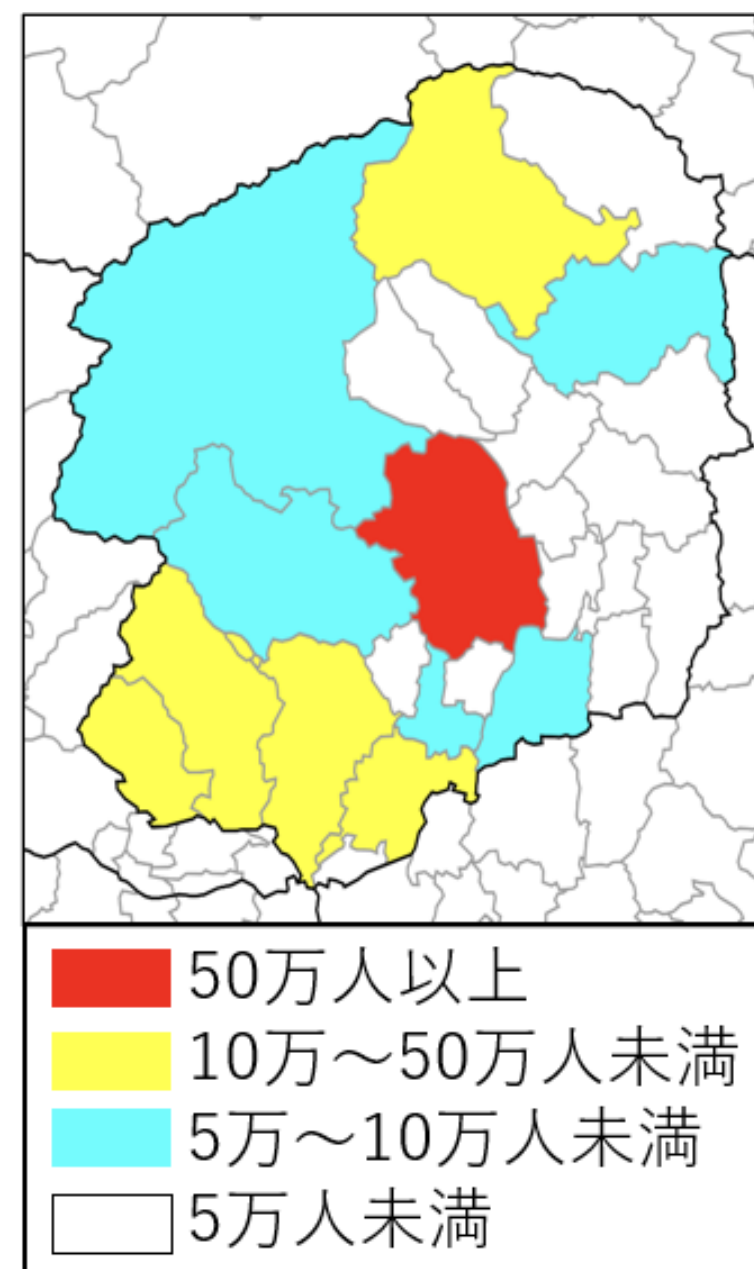
りょうさんは、内陸である栃木県でなぜ工業が盛んなのか疑問に思い、資料ア～ウを集めました。資料アの地域で工業が盛んな理由を、資料イ・ウを関連付けて書きましょう。

資料ア 工業が盛んな地域



(栃木県庁HPより作成)

資料イ 市町村別の人口



(栃木県庁HPより作成)

資料ウ 県内外の結びつき



(地理院地図Vectorにて作成)

山梨県教育振興基本計画の概要

教育は全ての人に向けて開かれており、誰もがその恩恵を享受できるもの。どのような境遇や経済状況でも、山梨にあっては、誰もが夢や希望の実現に邁進できるよう、新たな「山梨県教育振興基本計画」〔2024（R6）年度～2028（R10）年度〕を策定し、本県教育を推進するための教育の基本理念、基本目標等を示すとともに、今後の取り組むべき施策の方向等を明らかにする。

◆第1章 計画策定の基本的な考え方

1 策定の趣旨

本県教育の一層の振興を図るために、社会の状況を的確に見据えながら、新しい時代にふさわしい教育行政の在り方や施策の基本的方向を明確にする。

2 計画の位置付け

教育基本法第17条第2項の規定に基づく本県教育振興の基本計画であり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3第1項の規定に基づく教育大綱との整合を図り策定する。

3 計画の性格

本県教育を推進するための教育の基本理念、基本目標等を示すとともに、今後の取り組むべき施策の方向等を明らかにする。

4 計画の期間

2024（令和6）年度～2028（令和10）年度

◆第2章 教育を取り巻く社会の状況～今後の教育に求められる方向性

1 未来への可能性

ふるさとやまなしの恵まれた教育環境を生かし、次世代を担う子供たちの未来の可能性を広げる。

2 人口減少と高齢化の進展

「知識暗記」「正解主義」への偏りやインプット中心の教育から脱却し、知識や情報の編集・活用、アウトプットベースの教育への比重の転換を図る。

社会人の学び直し（リカレント教育）をはじめ、誰もが生涯のあらゆる場面で学びにアクセスできる生涯学習の体制整備を進める。

3 グローバル化の進展

「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向け、地球規模の課題を自分事として捉え、その解決に向けて自ら行動を起こす力を育む。

4 デジタルによる社会の変革

あらゆる分野の多様な個性が共に参画する「集合知」の結集・発揮を図るため自ら課題を発見・設定し多様な人と協働しながら課題を解決する探究学習やSTEAM教育等の教科等横断的な学習を充実させる。

5 互いに尊重し自分らしく生きる共生社会

多様なニーズや背景を有する子供たちに対応するため、社会的包摂の観点や全ての子供たちがそれぞれの多様性を認め互いに高め合う観点から、一人一人の能力や可能性を伸ばす。

6 家庭環境や地域社会の状況

学校と地域の連携・協働体制を構築し、地域が子供を育て、子供が地域の創り手に育つことを目指した人材を育てる。

7 子供の健康と安全・安心の確保

現代的な健康課題に対応するため、学校教育活動全般を通じた保健教育の充実と、生涯にわたり運動に親しみ、心身共に健康な生活を営むことができる資質・能力を育成する。

8 教員の多忙化

教育の根幹を支える教員が、自らの能力を十分に発揮し、意欲を持って子供に向き合い続けることができる職場環境を構築する。

9 教員の資質向上

ふるさとやまなしの未来を担う子供たちのため、社会の激しい変化に前向きに対応し、学び続ける教員を育成する。

◆第4章 山梨県教育の目指す方向性・第5章 施策の具体的方向性（裏面）

基本理念

**主体的に学び 他者と協働し 豊かな未来を拓く やまなしの人づくり
～誰もが教育の機会にアクセスできるやまなし～**

■基本目標Ⅰ 未来を生きる子供に必要な力を育む教育の推進

■基本方針	■施策項目
1 子供主体の授業への教育観の転換	(1) 自立した学習者の育成
2 成長の基盤となる資質・能力の育成	(2) 豊かな心の育成 (3) 健やかな体の育成 (4) 幼児期における質の高い教育の推進
3 ふるさとに誇りを持ち、地域や世界で活躍する人材の育成	(1) グローバルに活躍する人材の育成 (2) キャリア教育の推進 (3) イノベーションを牽引する人材の育成 (4) 高等教育機関との連携による学びの機会の充実 (5) スポーツ分野の人材育成

■基本目標Ⅱ 誰もが可能性を伸ばせる教育の推進

■基本方針	■施策項目
1 きめ細かな質の高い少人数教育の推進	(1) 個に応じた指導の充実
2 多様な教育ニーズへの対応	(1) 全ての子供に対する教育機会の確保 (2) 多様な学びの実現 (3) 特別支援教育の充実
3 人生100年時代を見据えた生涯学習の充実	(1) 生きがいを持ち、社会参画するための学びの推進 (2) 生涯を通じた文化芸術活動の推進 (3) リカレント教育の推進
4 学校・家庭・地域の連携・協働の推進による地域教育力向上	(1) 学校・家庭・地域の連携・協働の推進
5 地域コミュニティの基盤を支える社会教育の推進	(1) 社会教育の体制整備

■基本目標Ⅲ 教育デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進

■基本方針	■施策項目
1 教育DXの推進とデジタル社会を担う人材の育成	(1) GIGAスクール構想の推進 (2) 情報活用能力の育成 (3) 学校におけるDXの推進

■基本目標Ⅳ 学校を取り巻く教育環境の整備

■基本方針	■施策項目
1 子供と向き合う時間の確保に向けた取り組みの推進	(1) 学校における働き方改革の推進 (2) 魅力ある学校を支える指導体制の充実
2 質の高い教育のための環境整備	(1) 安全安心な教育環境の整備 (2) ICT活用のための環境整備

◆第6章 計画の進行管理

- 本計画を迅速かつ確実に進めるため、掲げた施策の進捗状況の点検、状況に応じた見直しが必要
- 毎年度、定期的な点検・評価を行いPDCAサイクルによる進行管理を実施
- 39の指標の推移に加え、関連情報も含めた多角的な評価を実施

山梨県

山梨県総合計画

山梨県教育大綱

国（文科省）

第4期教育振興基本計画(2023年度～2027年度)

○持続可能な社会の創り手の育成

○日本社会に根差したウェルビーイングの向上

学習指導要領(幼・小・中・特支(幼小中)2017年改訂)

(高校・特支(高)2018年改訂)

◆第3章 山梨県教育のこれまでの取り組み

1 バランスのとれた知・徳・体の育成

確かな学力の育成／豊かな心の育成／健やかな体の育成／幼児期における質の高い教育の推進

2 地域や世界で活躍する人材の育成

グローバルに活躍する人材の育成／キャリア教育の推進／イノベーションを牽引する人材の育成／大学等の高等教育の振興／スポーツ・文化芸術分野の人材育成

3 学校・家庭・地域による教育の推進

家庭・地域教育力の向上／学校・家庭・地域との連携・協働の推進

4 学びと活用が循環する生涯学習の推進

生きがいを持ち、社会参画するための学びの推進／よりよい地域づくりに向けた学びの推進

5 生涯にわたって活躍できる学びの体制づくり

社会人の学び直しの支援／障害者の生涯学習の推進

6 質の高い教育のための環境整備

学校における働き方改革の推進／魅力ある学校を支える指導体制の充実／ICT活用のための基盤整備／安全・安心で質の高い教育環境の整備

7 多様な学びの機会の充実と提供

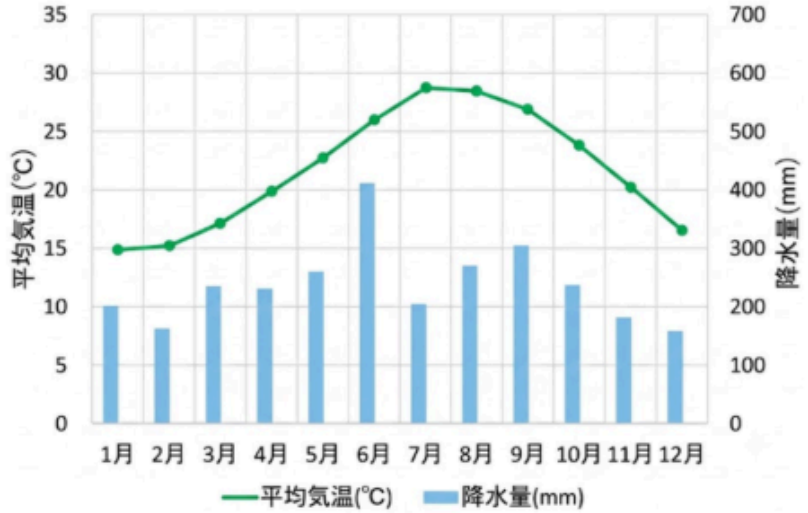
全ての子供の教育機会を保障する支援／多様性を包み込む教育の推進

次の資料1は奄美市と台風の月別の主な経路を資料2は奄美市の1991年～2020年における平年値の雨温図を示している。資料2から分かる降水量の特徴の原因を、資料1と関連付けてに説明しましょう。

資料 1



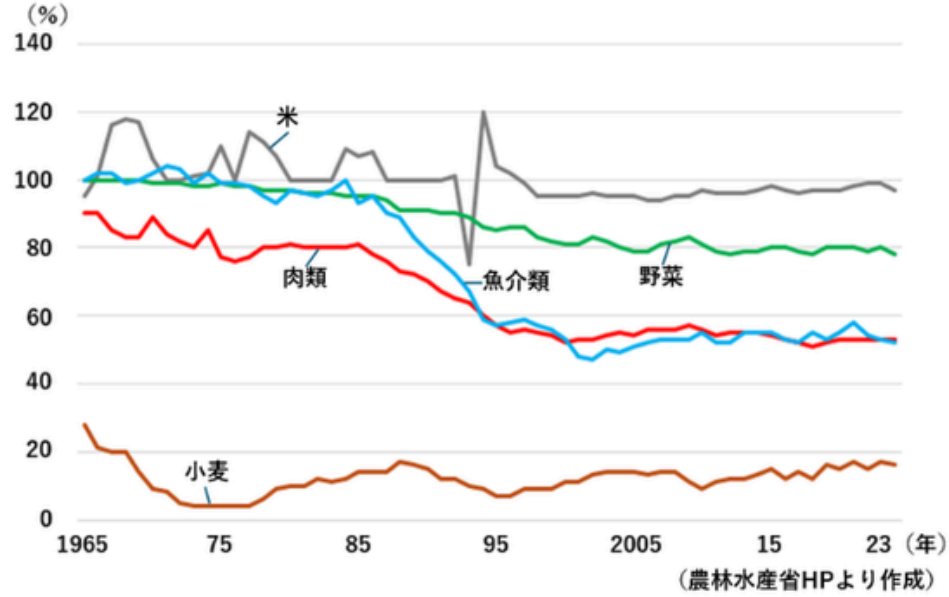
資料 2



Re
デザイン。

ももこさんは、日本の農業について次の資料を見つけました。資料から読み取れることとして正しいものを、1～4から2つ選びましょう。

日本の品目別食料自給率の変化



- 1 1980年代後半から、魚介類の自給率が急激に減っている
- 2 2023年の自給率が、1965年よりも多いのは肉類だけである
- 3 2023年の自給率が、1965年と比べて最も減っているのは小麦である
- 4 1995年に2番目に自給率が高かったのは野菜である

Re
デザイン。

資料やグラフの読み取りの技能を
しっかりと指導する

複数の資料の関連付け
情報の取捨選択

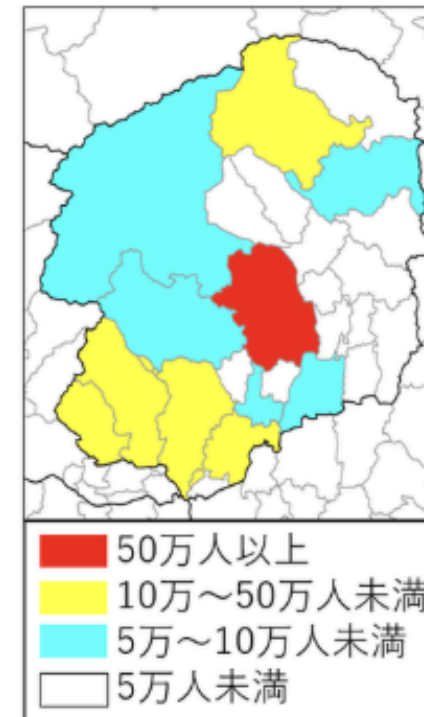
りょうさんは、内陸である栃木県でなぜ工業が盛んなのか疑問に思い、資料ア～ウを集めました。資料アの地域で工業が盛んな理由を、資料イ・ウを関連付けて書きましょう。

資料ア 工業が盛んな地域



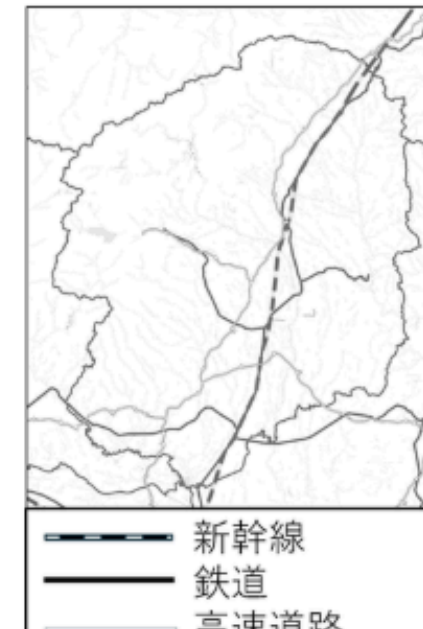
(栃木県庁HPより作成)

資料イ 市町村別の人口



(栃木県庁HPより作成)

資料ウ 県内外の結びつき



(地理院地図Vectorにて作成)

17 Re デザイン。

学習する知識を統合して
概念を獲得する

「なぜ」を問う
背景に注目する

小学校社会の内容



ポイント①

資料の読み取りの技能
指導していますか？



ポイント②

概念の獲得を目指して
いますか？

小学校社会の内容



全体概要



見えた課題は？

課題のある設問から見えた課題をお伝えいたします



ポイント①

資料の読み取りの技能指導していますか？



ポイント②

概念の獲得を目指していますか？

問題解決的な学習の流れ

学習問題を設定する

問題解決の見通しをもつ

学習問題の追究
諸資料や調査活動での調べ学習
他者との協働

振り返り・まとめ

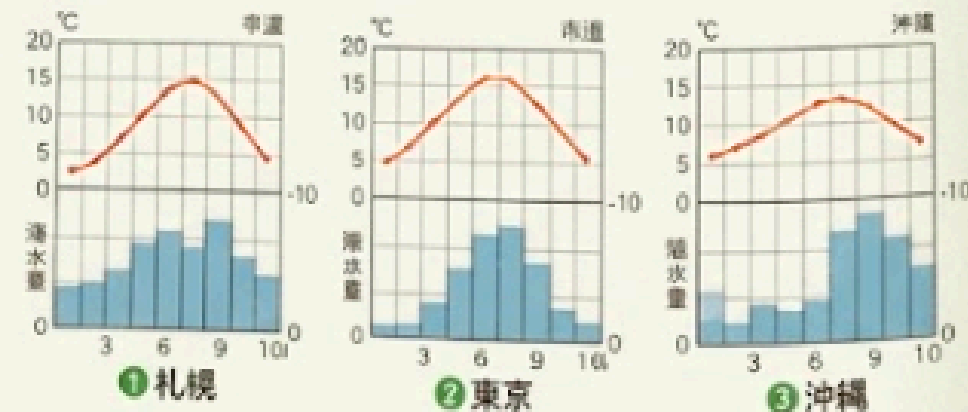
子供たちが諸資料を使って
調べ学習をする場面



学びのてびき



地図を見て、地域の、
地価のちがいを
考えよう！



風 雲い 雨い質わし

A diagram showing the ocean currents around Japan. The Japanese archipelago is highlighted in green. Arrows indicate the direction of water flow. Labels include: '温' (Warm) near the coast, '海流' (Ocean Current) in the middle, '冷冷流' (Cold Current) at the bottom left, '暖流' (Warm Current) at the top right, and '温冷流' (Warm Cold Current) at the top left.

キ-7-D

- なるほど、気候と
いろいろなことが
関係しているだね。



小学校社会科における「技能」は、「社会的事象について調べまとめる技能」である。具体的には、調査活動や諸資料の活用など手段を考えて問題解決に必要な社会的事象に関する情報を集める技能、集めた情報を「社会的事象の見方・考え方」に沿って読み取る技能、読み取った情報を問題解決に沿ってまとめる技能などであると考えられる。

必要な情報を
集める技能

見方・考え方に
沿って読み取る技能

問題解決に沿って
まとめる技能

小学校社会科における「技能」は、「社会的事象について調べまとめる技能」である。具体的には、調査活動や諸資料の活用など手段を考えて問題解決に必要な社会的事象に関する情報を集める技能、集めた情報を「社会的事象の見方・考え方」に沿って読み取る技能、読み取った情報を問題解決に沿ってまとめる技能などであると考えられる。

これらの技能は、単元などのまとまりごとに全てを育成しようとするものではなく、情報を収集する手段や情報の内容、資料の特性等に応じて指導することが考えられる。そのため、小・中学校の社会科はもとより、高等学校の地理歴史科、公民科においても、巻末の参考資料「社会的事象等について調べまとめる技能」を参考にするなどして、繰り返し児童生徒が身に付けるように指導することが大切である。

繰り返し児童が
身に付けるように指導する

社会的事象等について調べまとめる技能

		技能の例
情報を収集する技能	手段を考えて課題解決に必要な社会的事象等に関する情報を収集する技能	【1】調査活動を通して ○野外調査活動 ・調査の観点（数、量、配置等）に基づいて、現地の様子や実物を観察し情報を集める ・景観のスケッチや写真撮影等を通して観察し、情報を集める ・地図を現地に持って行き、現地との対応関係を観察し、情報を集める ○社会調査活動 ・行政機関や事業者、地域住民等を対象に聞き取り調査、アンケート調査などを行い、情報を集める 【2】諸資料を通して ○資料の種類 ・地図（様々な種類の地図）や地球儀から、位置関係や形状、分布、面積、記載内容などの情報を集める ・年表から、出来事やその時期、推移などの情報を集める ・統計（表やグラフ）から傾向や変化などの情報を集める ・新聞、図書や文書、音声、画像（動画、静止画）、現物資料などから様々な情報を集める
情報を読み取る技能	収集した情報を社会的な見方・考え方に沿って読み取る技能	【1】情報全体の傾向性を踏まえて ・位置や分布、広がり、形状などの全体的な傾向を読み取る ・量やその変化、区分や移動などの全体的な傾向を読み取る ・博物館や郷土資料館等の展示品目の配列から、展示テーマの趣旨を読み取る 【2】必要な情報を選んで ○事実を正確に読み取る ・形状、色、数、種類、大きさ、名称などに関する情報を読み取る ・方位、記号、高さ、区分などを読み取る（地図） ・年号や時期、前後関係などを読み取る（年表） ○有用な情報を選んで読み取る ・学習上の課題の解決につながる情報を読み取る ・諸情報の中から、目的に応じた情報を選別して読み取る ○信頼できる情報について読み取る
情報をまとめる技能	読み取った情報を課題解決に向けてまとめる技能	【1】基礎資料として ・聞き取って自分のメモにまとめる ・地図上にドットでまとめる ・数値情報をグラフに転換する（雨温図など） 【2】分類・整理して ・項目やカテゴリーなどに整理してまとめる ・順序や因果関係などで整理して年表にまとめる ・位置や方位、範囲などで整理して白地図上にまとめる ・相互関係を整理して図（イメージマップやフローチャートなど）にまとめる ・情報機器を用いて、デジタル化した情報を統合したり、編集したりしてまとめる

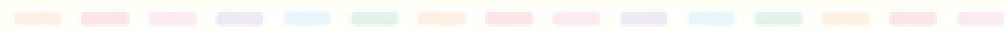
【出典】教育課程部会 社会・地理歴史・公民ワーキンググループにおける審議の取りまとめ（平成28年8月26日）資料7

(小・中・高等学校)
○その他 ・模擬体験などの体験活動を通して人々の仕事などに関する情報を集める ・博物館や郷土資料館等の施設、学校図書館や公共図書館、コンピュータなどを活用して映像、読み物や紀行文、旅行経験者の体験記など様々な情報を集める ・コンピュータや情報通信ネットワークなどを活用して、目的に応じて様々な情報を集める 【3】情報手段の特性や情報の正しさに留意して ・資料の表題、出典、年代、作成者などを確認し、その信頼性を踏まえつつ情報を集める ・情報手段の特性に留意して情報を集める ・情報発信者の意図、発信過程などに留意して情報を集める
【3】複数の情報を見比べたり結び付けたりして ・異なる情報を見比べ（時期や範囲の異なる地域の様子など）たり、結び付け（地形条件と土地利用の様子など）たりして読み取る ・同一の事象に関する異種の資料（グラフと文章など）の情報を見比べたり結び付けたりして読み取る ・同種の資料における異なる表現（複数の地図、複数のグラフ、複数の新聞など）を見比べたり結び付けたりして読み取る 【4】資料の特性に留意して ・地図の主題や示された情報の種類を踏まえて読み取る ・歴史資料の作成目的、作成時期、作成者を踏まえて読み取る ・統計等の単位や比率を踏まえて読み取る
【3】情報を受け手に向けた分かりやすさに留意して ・効果的な形式でまとめる ・主題に沿ってまとめる ・レイアウトを工夫してまとめる ・表などの数値で示された情報を地図等に変換する

3種類に分かれている



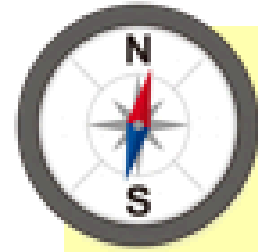
学びのてびき



集める

読み取る

表す

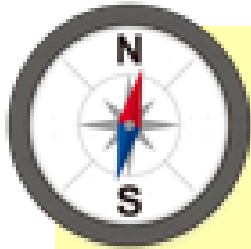


学びのてびき

グラフを読み取る



- ①タイトルを読み、何を表すグラフなのか
確かめる
- ②たてじく、横じくがそれぞれ何を表すのか
確かめる
- ③一つ一つ数字を読む
- ④グラフ全体をみてどのように変わって
いるか言葉に表す



学びのてびき

グラフを読み取る

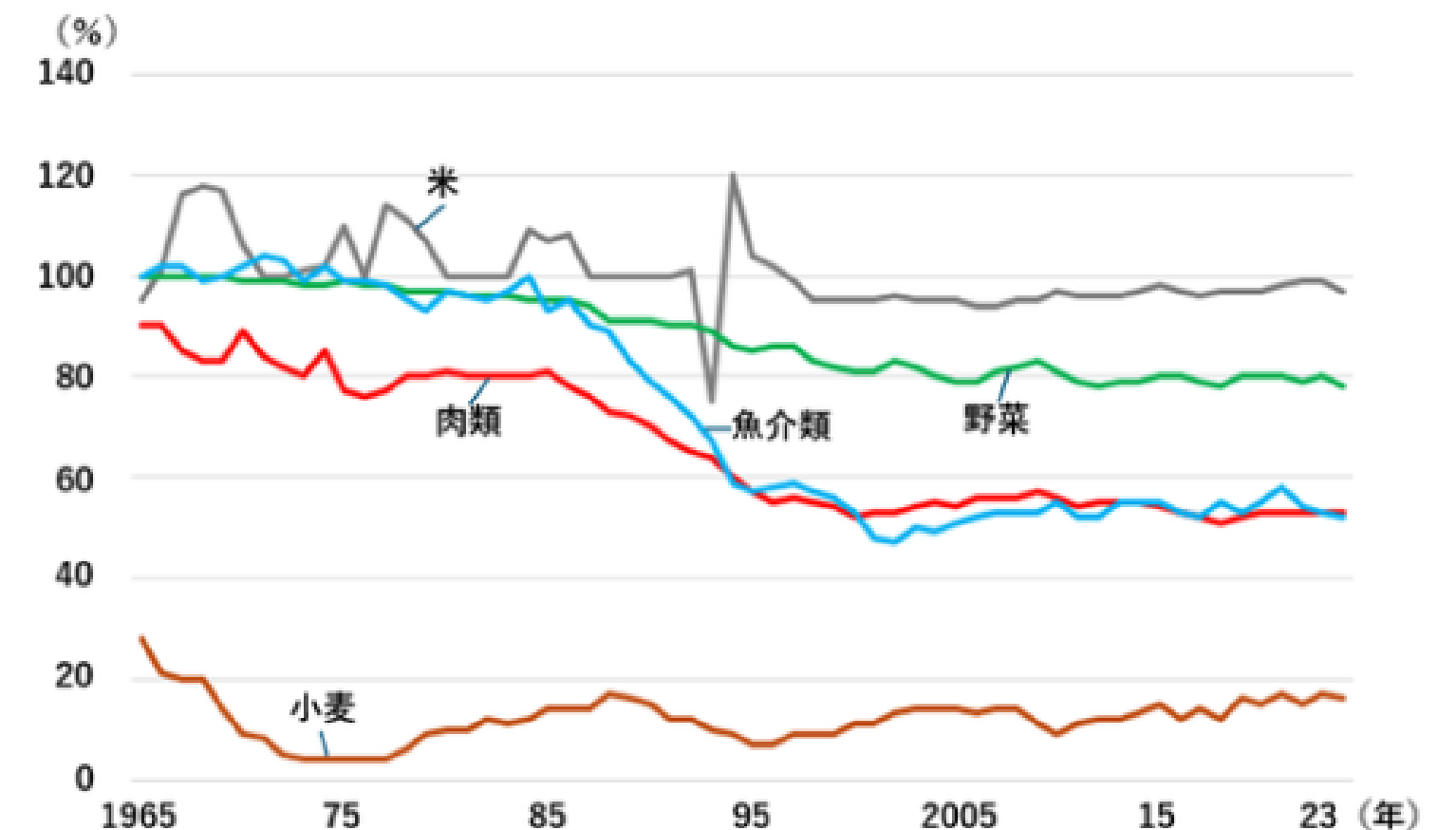


- ①タイトルを読み、何を表すグラフなのか
確かめる
- ②たてじく、横じくがそれぞれ何を表すのか
確かめる
- ③一つ一つ数字を読む
- ④グラフ全体をみてどのように変わって
いるか言葉に表す

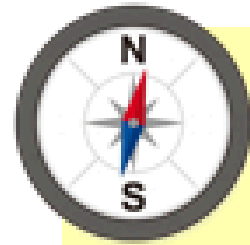


3年生から
幾度となく積み重ねていく

日本の品目別食料自給率の変化



(農林水産省HPより作成)



学びのてびき

気温と降水量のグラフを読み取る



①グラフの読み取り方の確かめ

- ・気温…折れ線グラフと「℃」のメモリ
- ・降水量…ぼうグラフと「mm」のメモリ

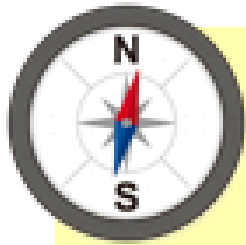
②気候の特色の読み取り

【一つのグラフから】

- ・月ごとの気温差
- ・降水量の月ごと比較

【二つのグラフから】

- ・比較し全体の傾向を読み取る



学びのてびき

気温と降水量のグラフを読み取る



①グラフの読み取り方の確かめ

- ・気温…折れ線グラフと「℃」のメモリ
- ・降水量…ぼうグラフと「mm」のメモリ

②気候の特色の読み取り

【一つのグラフから】

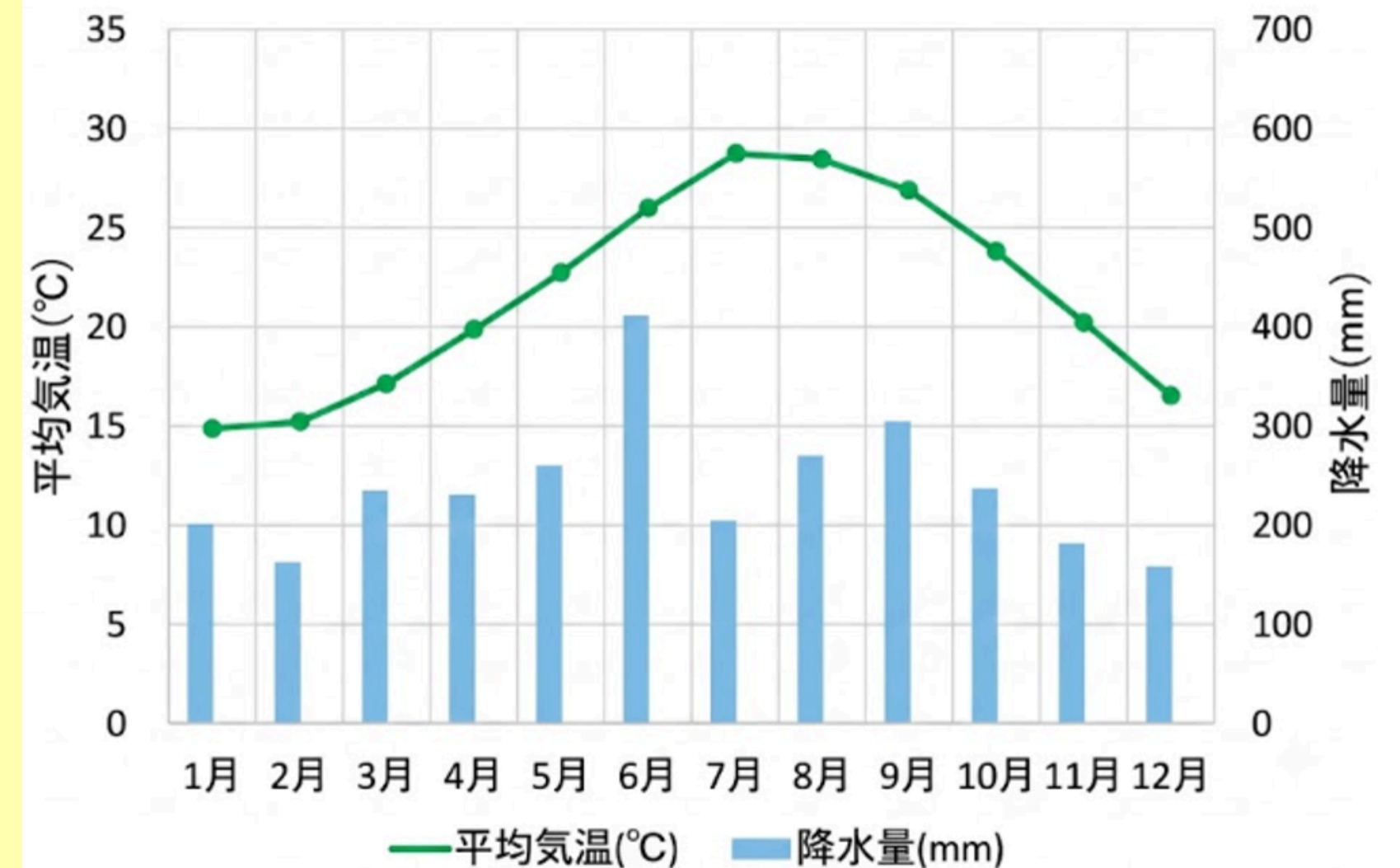
- ・月ごとの気温差
- ・降水量の月ごと比較

【二つのグラフから】

- ・比較し全体の傾向を読み取る



自ら調べまとめる技能につながっていく





学びのてびき

二つの地図を関係づけて読み取る



- ①土地利用と地形図を並べて見てみる
- ②どんな地形がどんな土地に利用されているか読み取る
- ③土地利用と地形との関係についていえることを考える



学びのてびき

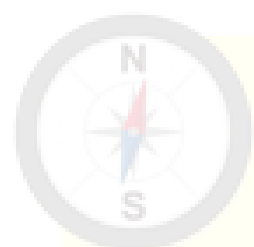
二つの変化を関係づけて読み取る



- ①国内生産台数、海外生産台数のそれぞれについて、全体としてどう変化しているか読み取る
- ②国内生産台数の変化と、海外生産台数の変化にはどのような関係があるか考える
- ③これらの変化が起こった理由を考える

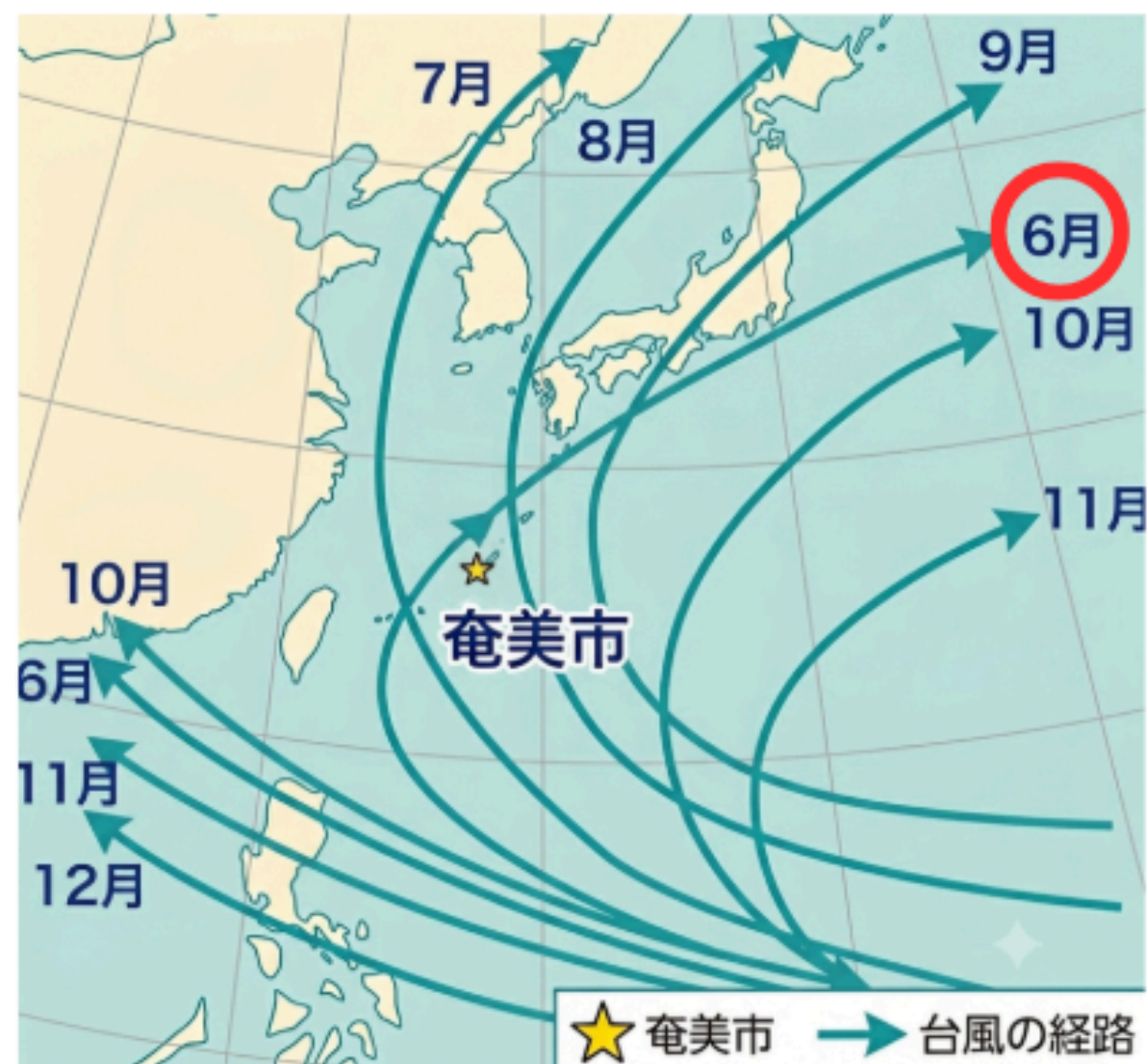


複数の資料を関連付けて読み取ることの
視点や技能も指導

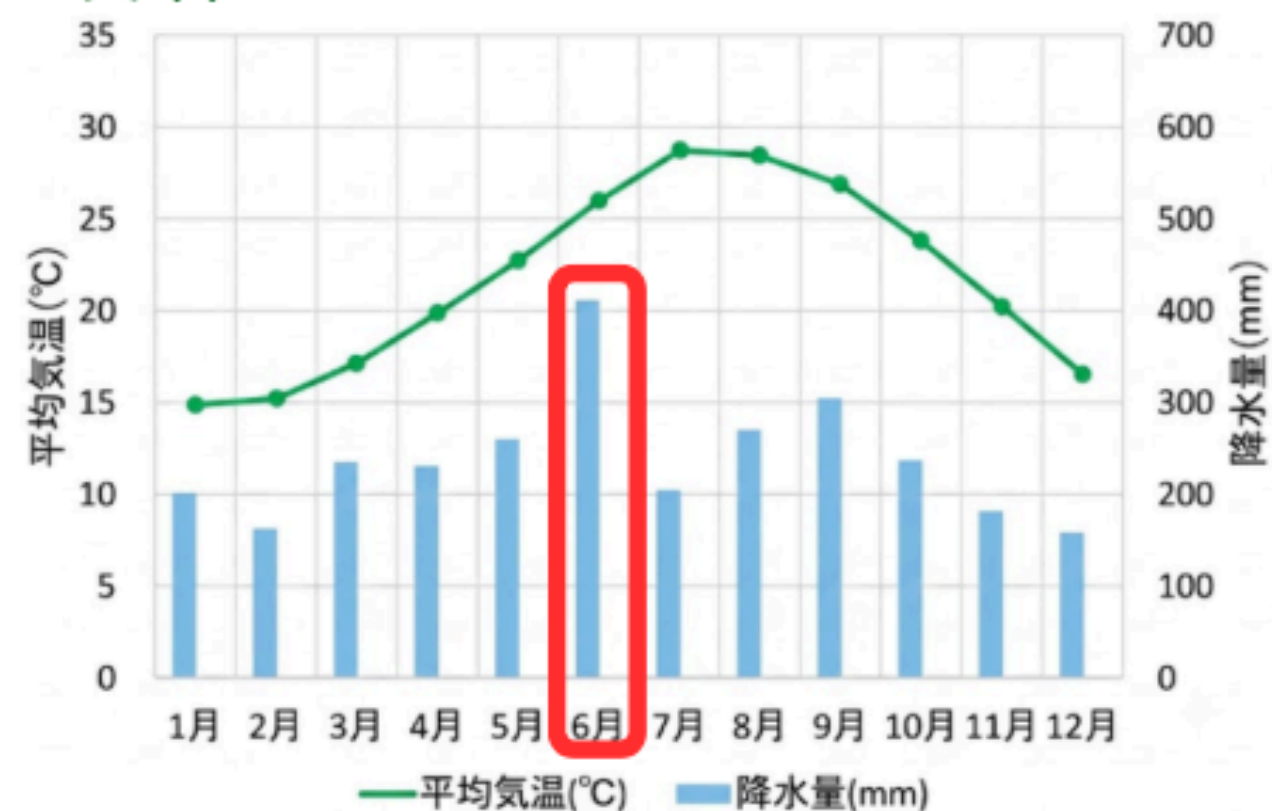


学びのてびき

資料 1



資料 2



【二つのグラフから】
・比較し全体の傾向を読み取る



学びのてし

二つの地図を

①土地利用と地

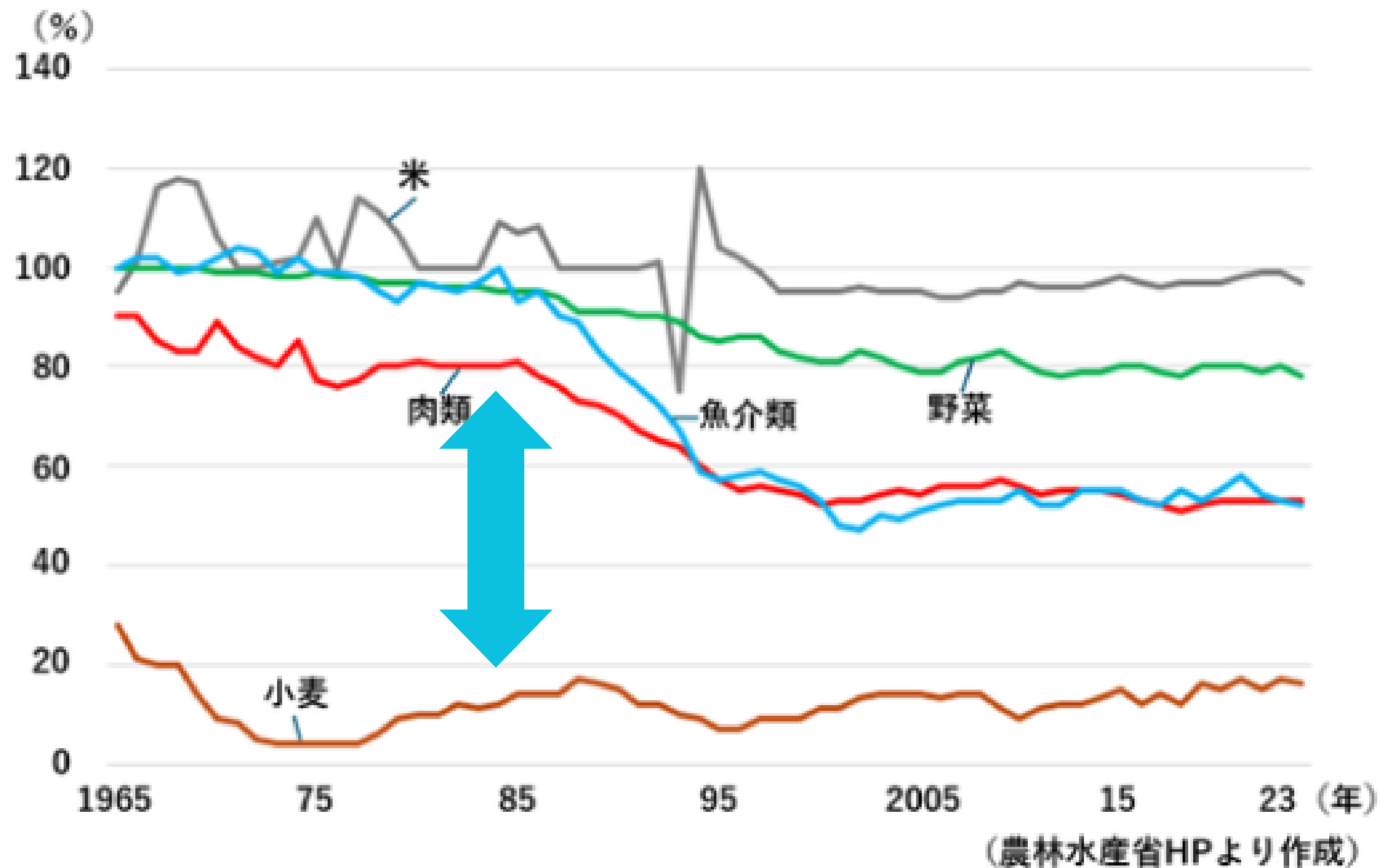
②どんな地形が

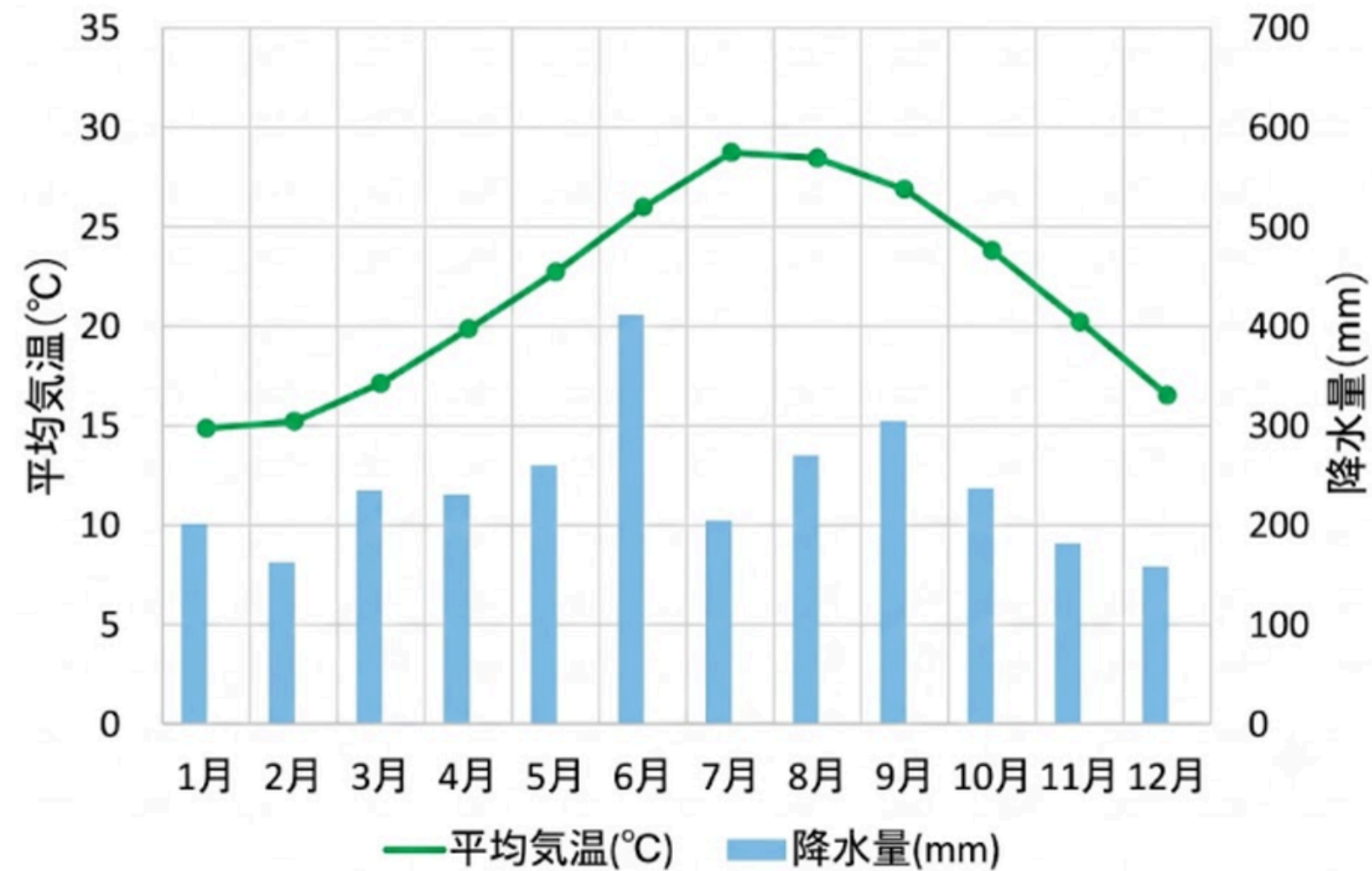
いるか読み取る

③土地利用と地

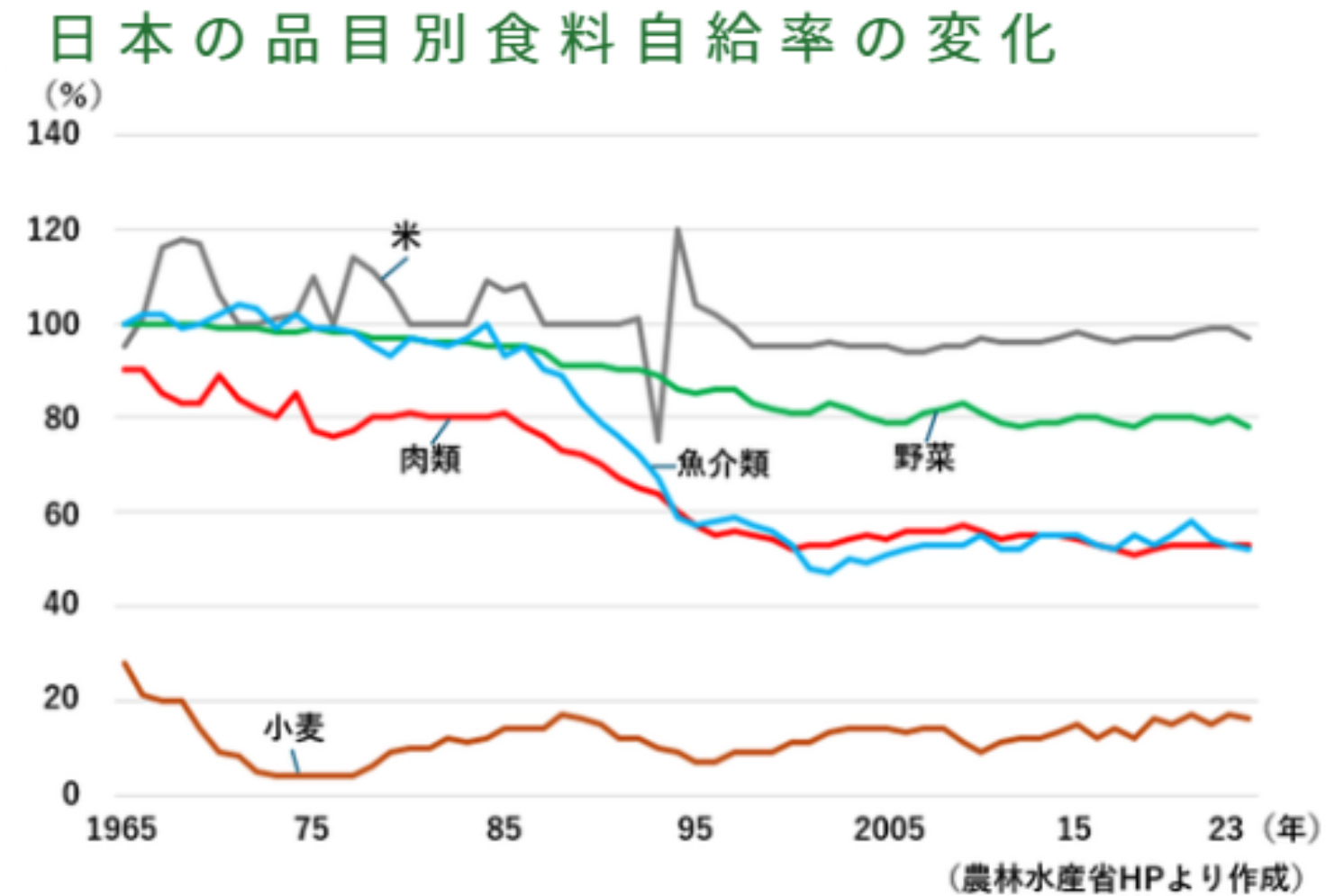
いえることを考

日本の品目別食料自給率の変化





横軸は何を表しているか
 縦軸は何を表しているか
 軸の1目盛りはいくつ分か
 赤色は何を表しているか
 青色は何を表しているか
 全体はいくらか
 それぞれの割合はどのくらいか など

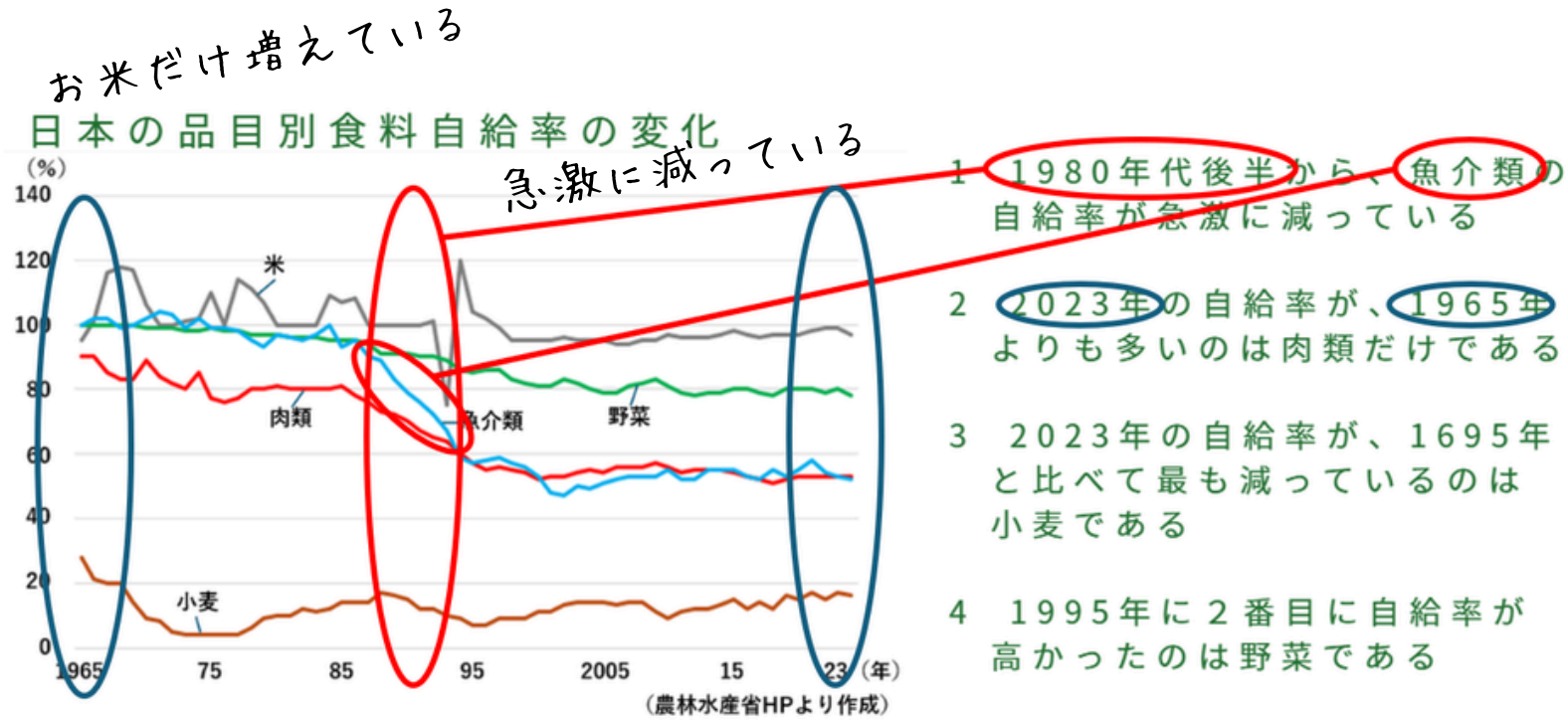
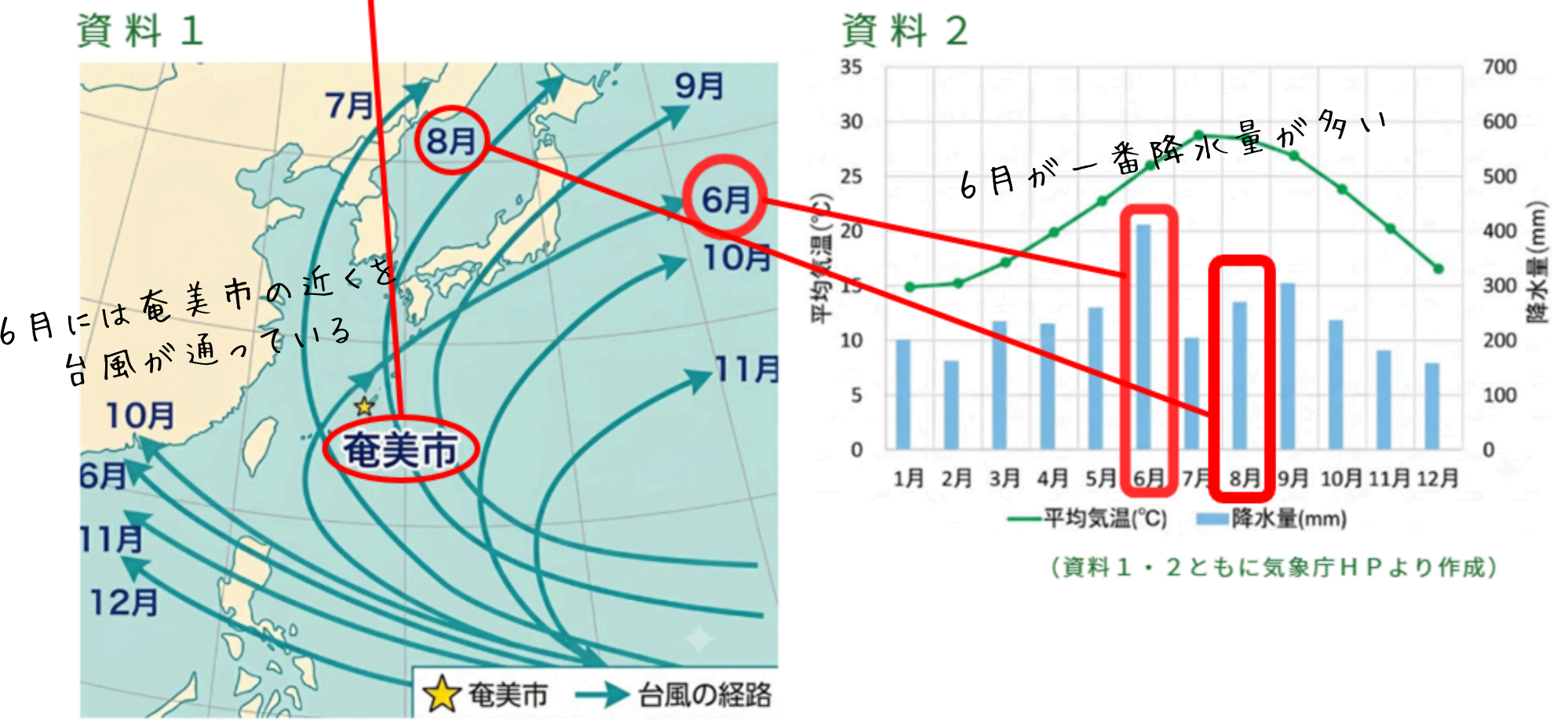


読み取りの視点を指導する



未知のグラフに出会っても
 その視点で読み取れる

次の資料 1 は奄美市と台風の名別の主な経路を資料 2 は奄美市の19914
~2020年における平年値の雨温図を示している。資料 2 から分かる降
量の特徴の原因を、資料 1 と関連付けてに説明しましょう。



テキストの情報と連動させる
わかる情報を書き込む
複数の資料を結び付ける

読み取り方を指導する
↓
正確に事実が
読み取れているか視覚化する



↑ A 現在の給食と国内の食料だけの給食の比較

4

これからの食料生産



?

私たちが食べている食料はそのくらい輸入されているのだろう。

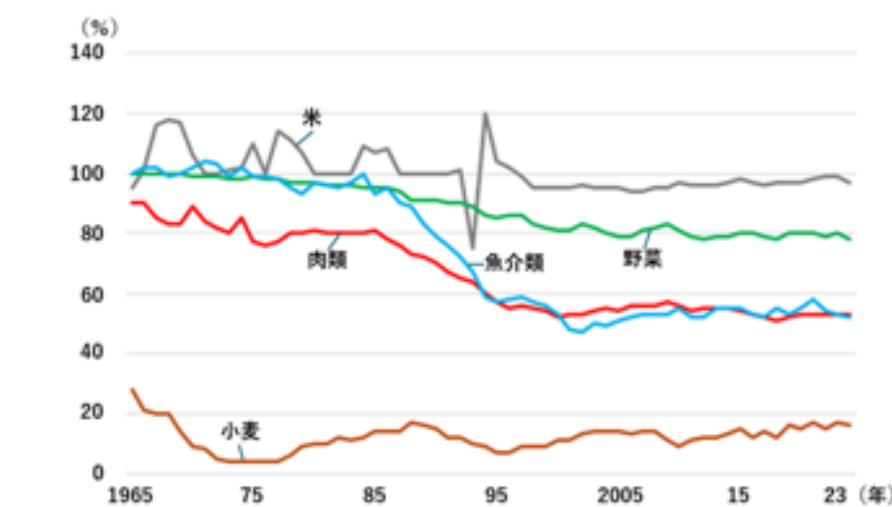


↑ B 昔の日本の食事

国外からもとどく食料

これまでの学習で、私たちの食卓は、多くの農家の人たちや水産業で働く人たちによって支えられていることを学んできました。

その一方で、りょうさんたちは給食を食べているときやスーパーマーケットで買い物をしているとき外国産の食料が多くあることに気が付きました。



↑ C 主な食料の自給率の変化

キーワード

食料自給率

国内で消費された食料の内、どれだけ国内で生産されたかを表す割合。



Cを見ると、食料自給率は多くの食料で減ってきているみたい…。Aのようにならないか心配だ。



もっと詳しく食料の輸入について調べてみよう。

テキストの情報と **連動** させる
わかる情報を **書き込む**
複数の資料を **結び付ける**

読み取り方を指導する



正確に事実が
読み取れているか視覚化する



↑ A 現在の給食と国内の食料だけの給食の比較

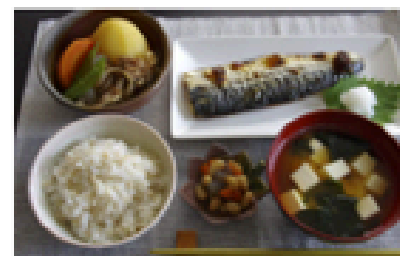
4

これからの食料生産



?

私たちが食べている食料はそのくらい輸入されているのだろう。

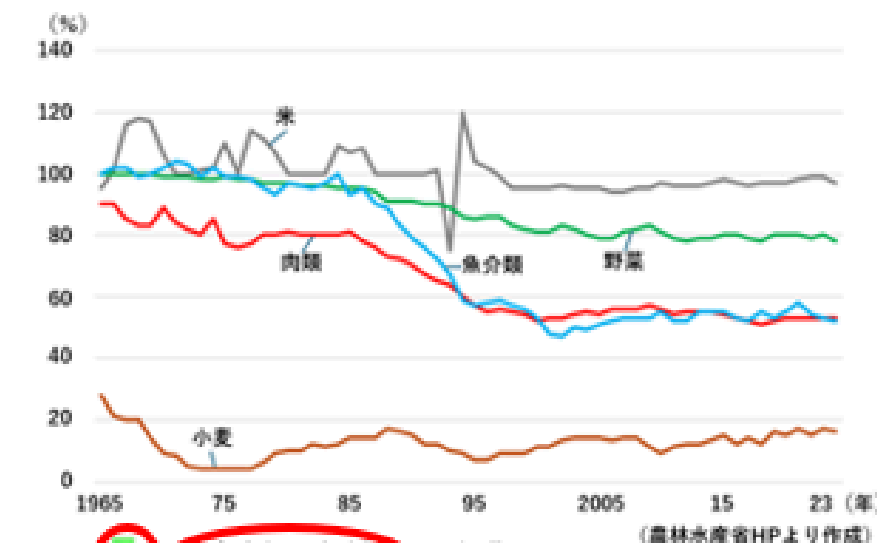


↑ B 昔の日本の食事

国外からもとどく食料

これまでの学習で、私たちの食卓は、多くの農家の人たちや水産業で働く人たちによって支えられていることを学んできました。

その一方で、りょうさんたちは給食を食べているときやスーパーマーケットで買い物をしているとき外国産の食料が多くあることに気が付きました。



↑ C 主な食料の自給率の変化

キーワード

食料自給率

国内で消費された食料の内、どれだけ国内で生産されたかを表す割合。

そこで、りょうさんたちは、日本の食生活と食料自給率について調べることにしました。

①を見ると、食料自給率は多くの食料で減ってきているみたい... ②のようにならないか心配だ。

→
もっと詳しく食料の輸入について調べてみよう。

テキストの情報と連動させる
わかる情報を書き込む
複数の資料を結び付ける

読み取り方を指導する



正確に事実が
読み取れているか視覚化する

読み取った**情報**や**事実**を**記述**したり
そこから**思考**したことを**表現**したりする**ツールの一つ**として…

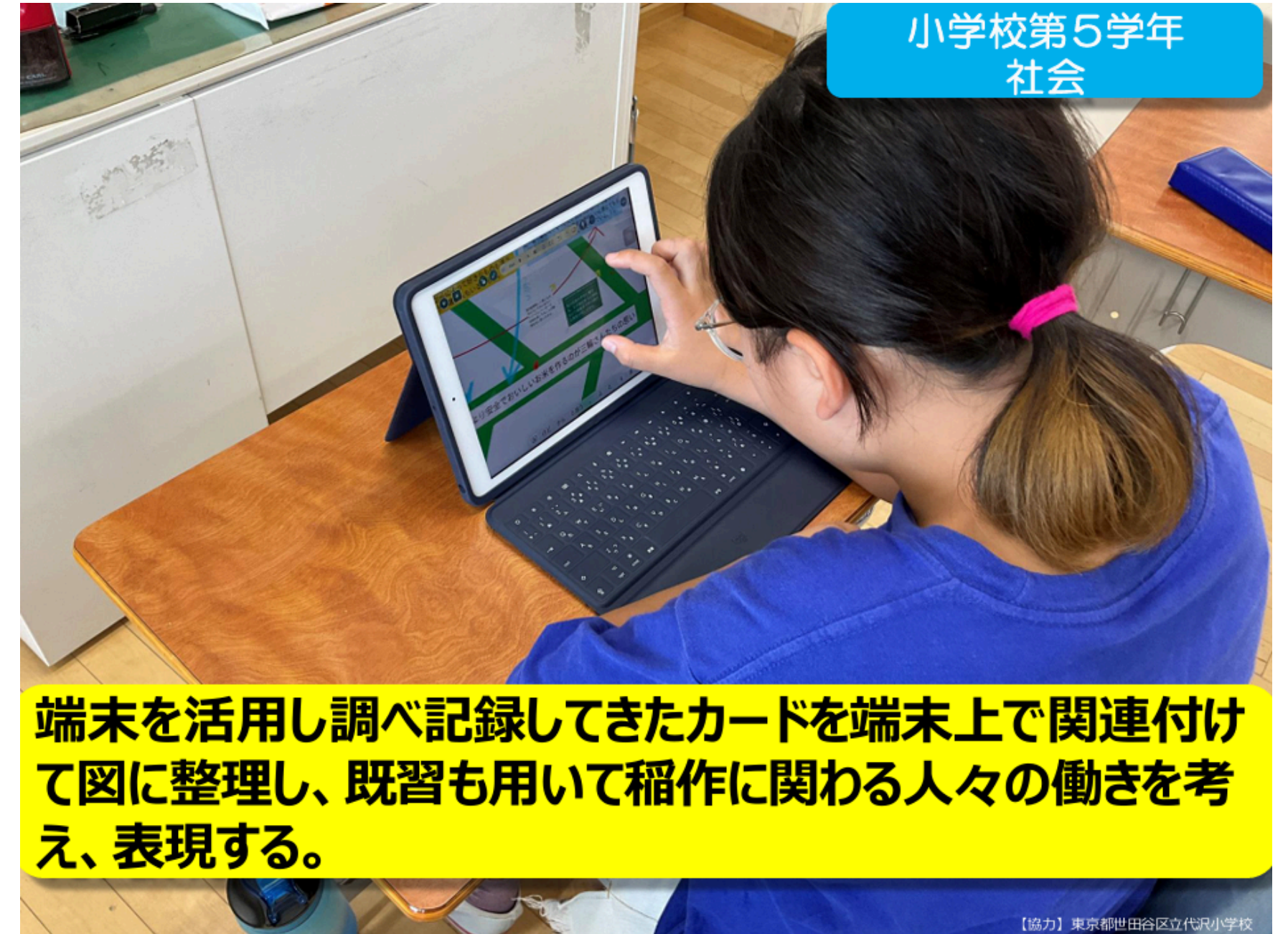
小学校第4学年
社会



地形や交通網などについてまとめた透明な地図を重ねることで、県の地理的環境の特色を考え、表現する。

【協力】福島大学附属小学校

小学校第5学年
社会



端末を活用し調べ記録してきたカードを端末上で関連付けて図に整理し、既習も用いて稲作に関わる人々の働きを考え、表現する。

【協力】東京都世田谷区立代沢小学校

一緒に読み取り方を指導する



似たようなグラフを読みながら支援する



未知のグラフを自分で読み取り
表現する場面を設定する

一緒に読み取り方を指導する

似たようなグラフを読みながら支援する

繰り返し指導することで...

未知のグラフを自分で読み取り

表現する場面を設定する

指導



支援



自走

問題解決的な学習の流れ

学習問題を設定する

問題解決の見通しをもつ

学習問題の追究
諸資料や調査活動での調べ学習
他者との協働

子供たちが諸資料を使って
調べ学習をする場面

振り返り・まとめ

小学校社会の内容



全体概要



見えた課題は？

課題のある設問から見えた課題をお伝えいたします



ポイント①

資料の読み取りの技能指導していますか？



ポイント②

概念の獲得を目指していますか？



インタラクション①

社会科における資料の読み取りの指導について
現在どのようなことを行っていますか？

e x .

3 年の担任です。

1 学期に方位を扱ってか
らどの地図を扱う時も方
位を確認してから読むこ
とにしています。



4 年の担任です。

まずは全員でグラフを読み
取る経験を 1 学期に積み重
ねてきました。

2 学期以降少し自走させ始
めようと考えています。



小学校社会の内容



全体概要



見えた課題は？

課題のある設問から見えた課題をお伝えいたします



ポイント①

資料の読み取りの技能指導していますか？

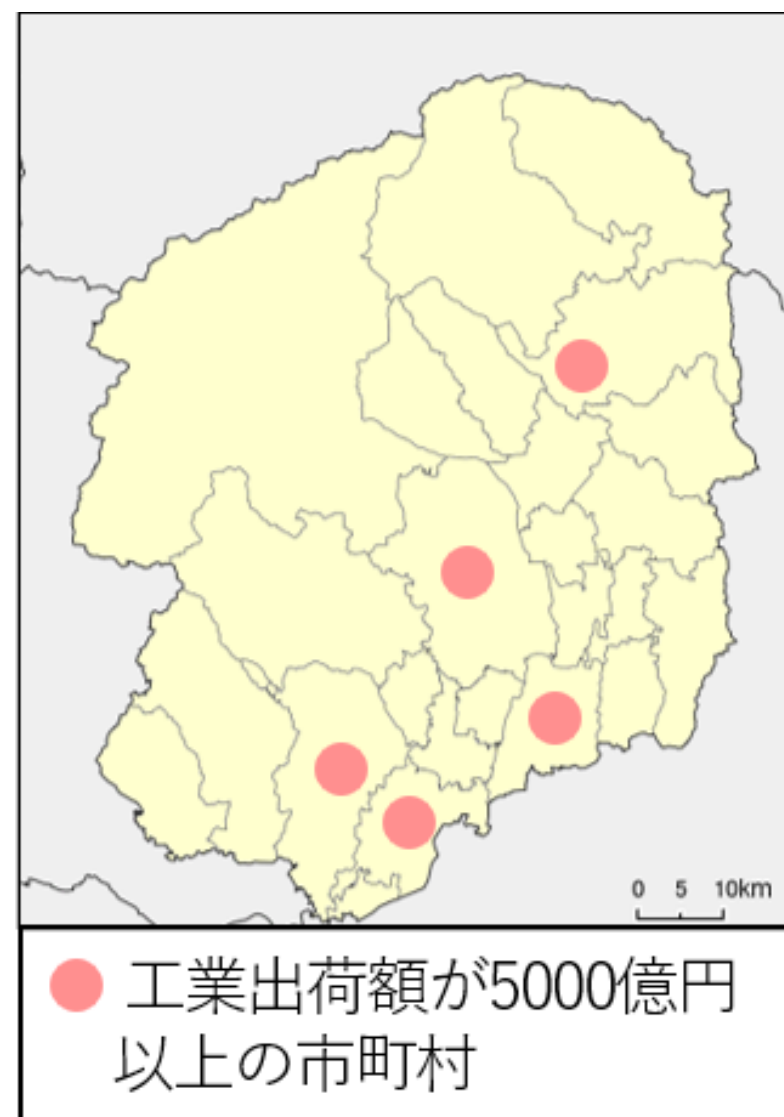


ポイント②

概念の獲得を目指していますか？

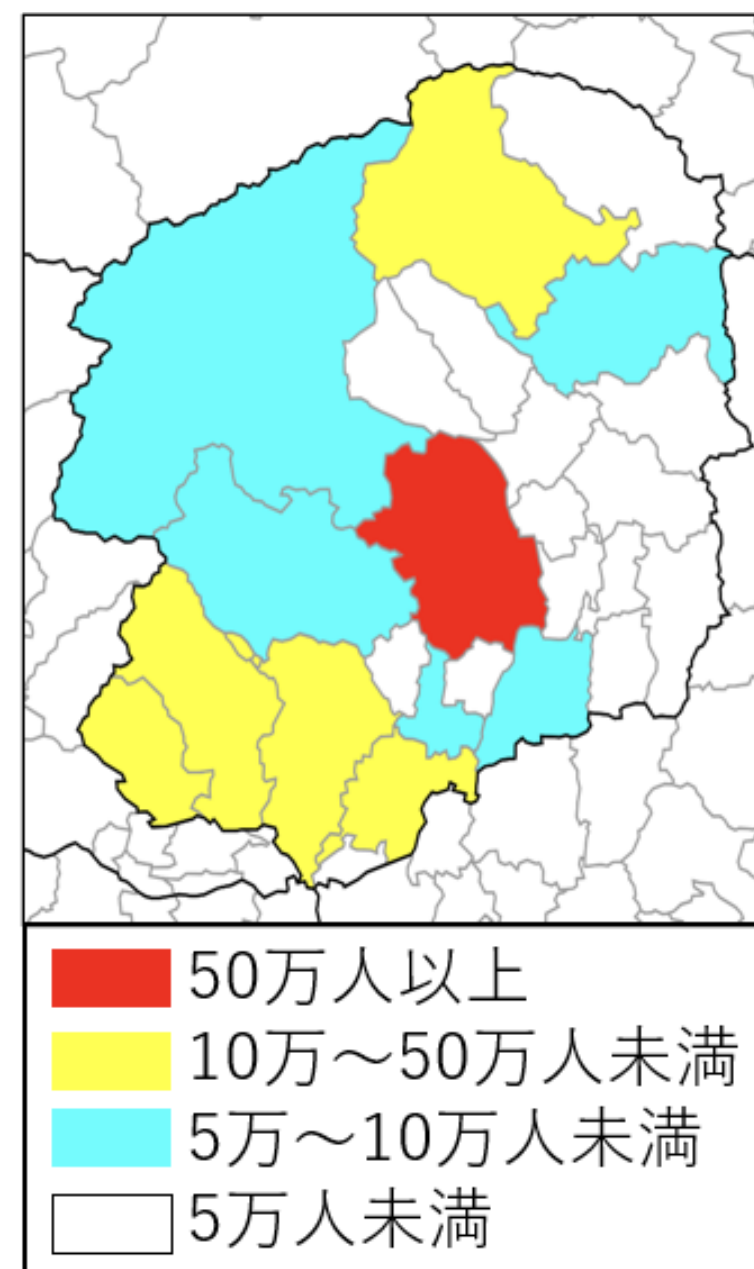
りょうさんは、内陸である栃木県でなぜ工業が盛んなのか疑問に思い、資料ア～ウを集めました。資料アの地域で工業が盛んな理由を、資料イ・ウを関連付けて書きましょう。

資料ア 工業が盛んな地域



(栃木県庁HPより作成)

資料イ 市町村別の人口

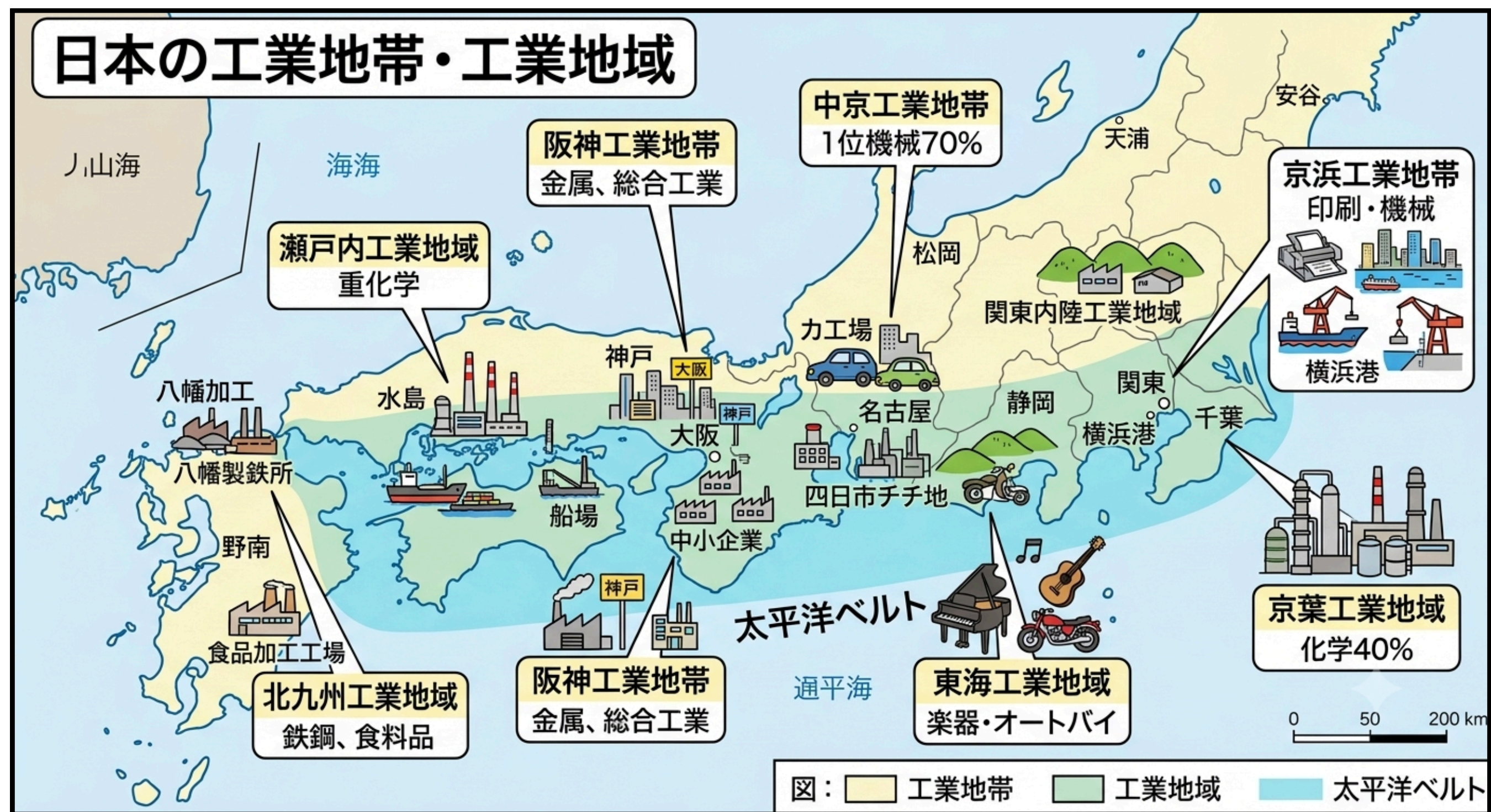


(栃木県庁HPより作成)

資料ウ 県内外の結びつき



(地理院地図Vectorにて作成)





暗記できていればいいのか…？

(3) 我が国の工業生産について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 我が国では様々な工業生産が行われていることや、国土には工業の盛んな地域が広がっていること及び工業製品は国民生活の向上に重要な役割を果たしていることを理解すること。

(イ) 工業生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解すること。

(ウ) 貿易や運輸は、原材料の確保や製品の販売などにおいて、工業生産を支える重要な役割を果たしていることを理解すること。

(エ) 地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 工業の種類、工業の盛んな地域の分布、工業製品の改良などに着目して、工業生産の概要を捉え、工業生産が国民生活に果たす役割を考え、表現すること。

(イ) 製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して、工業生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現すること。

(ウ) 交通網の広がり、外国との関わりなどに着目して、貿易や運輸の様子を捉え、それらの役割を考え、表現すること。

工業製品は国民生活の向上に重要な役割を果たしている

工業生産の概要を捉え、工業生産が国民生活に果たす役割を考え表現する

(3) 我が国の工業生産について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 我が国では様々な工業生産が行われていることや、国土には工業の盛んな地域が広がっていること及び工業製品は国民生活の向上に重要な役割を果たしていることを理解すること。

日本の工業生産の概要を捉えるために

(イ) 工業生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解すること。

工業が盛んな地域に着目しているという意識



工業生産が国民生活に果たす役割を考える

工業製品は国民生活の向上に重要な役割を

果たしていると理解する

(ア) 工業の種類、工業の盛んな地域や工業製品の改良などに着目して、工業生産の概要を捉え、工業生産が国民生活に果たす役割を考え、表現すること。

(イ) 製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して、工業生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現すること。

(ウ) 交通網の広がり、外国との関わりなどに着目して、貿易や運輸の様子を捉え、それらの役割を考え、表現すること。

工業製品は国民生活の向上に重要な役割を果たしている

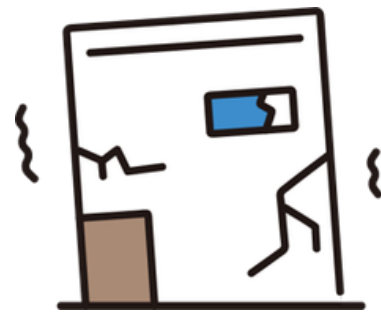
工業生産の概要を捉え、工業生産が国民生活に果たす役割を考え表現する

例えば…

4年生で自然災害から人々を守る活動
について扱う単元がありますが…

みなさまの学校では
どの自然災害を選択していますか？

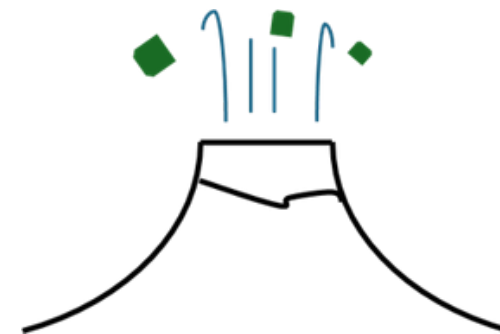
みなさまの学校では
どの自然災害を選択していますか？



地震災害



津波災害
風水害



火山災害



雪害

(3) 自然災害から人々を守る活動について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解すること。

(イ) 聞き取り調査をしたり地図や年表などの資料で調べたりして、まとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、災害から人々を守る活動を捉え、その働きを考え、表現すること。

地震火害

津波火害

火山火害

雪害

風水害

自然災害に対し…

- ・ 様々な協力をして対処してきたこと
- ・ 今後想定される災害に対し，様々な備えをしていること

を理解するため



- ・ 過去に発生した地域の自然災害
- ・ 関係機関の協力

に着目する

みなさまの学校では どの自然災害を選択していますか？

(2) 内容の(3)については、次のとおり取り扱うものとする。

ア アの(ア)については、地震災害，津波災害，風水害，火山災害，雪害などの中から，過去に県内で発生したものを選択して取り上げること。



地震災害



津波災害
風水害

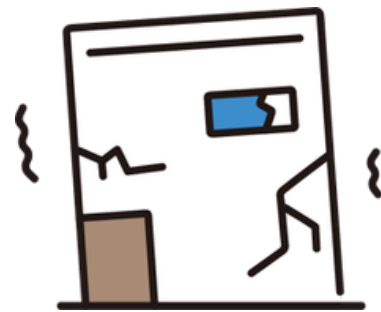


火山災害



雪害

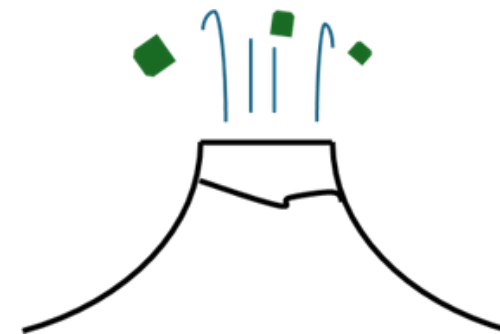
みなさまの学校では
どの自然災害を選択していますか？



地震災害



津波災害
風水害



火山災害



雪害

なぜ
どの災害でも
災害の歴史
学校や家庭での備え
市役所
地域の人々
を扱うの？

イの(イ)の製造の工程，工場相互の協力関係，優れた技術などに着目して，工業生産に関わる人々の工夫や努力を捉え，それらの人々の働きを考え，表現することとは，社会的事象の見方・考え方を働かせ，工業生産に関わる人々の工夫や努力について，例えば，工業製品はどのような仕組みでつくられているか，工場はどのような仕組みでつながっているか，どのような技術を生かしているかなどについて，役立てて調べたり，工業生産と国民生活を関連付けて考えたりして，調べたことや考えたことを表現することである。

自然災害に対し… 様々な協力をして対処してきたこと 今後想定される災害に対し，様々な 備えをしていること

製造の工程に着目するとは，工業生産における原材料の確保，生産から出荷までの仕事の工程について調べることであり，工場相互の協力関係に着目するとは，関連工場の計画的，効率的な部品生産の工夫や努力，大規模な工場と関連工場との結び付きについて調べることであり，優れた技術に着目するとは，産業用ロボットなどを活用したオートメーションなど大規模工場の生産システム，消費者の需要や社会の要請に応える生産の仕方，中小工場での技術を生かした生産の様子，新しい分野に挑戦する研究開発などについて調べることであり，このようにして調べたことを手掛かりに工業生産に関わる人々の工夫や努力を捉えることができるようにする。

地震？ 風水害？ 火山？ 雪害？

その（工業生産に関わる人々の）働きを考え，表現するとは，例えば，工業生産の仕事の工夫や努力と消費者の需要や社会の変化を関連付けて，工業生産に関わる人々の働きを考え，文章で記述したり，図表などにまとめたことを基に説明したりすることである。

イの(イ)の製造の工程，工場相互の協力関係，優れた技術などに着目して，工業生産に関わる人々の工夫や努力を捉え，それらの人々の働きを考え，表現することとは，社会的事象の見方・考え方を働かせ，工業生産に関わる人々の工夫や努力について，例えば，工業製品はどのような仕組みでつくられているか，工場はどのような仕組みでつながっているか，どのような技術を生かしているかなどについて，役立てて調べたり，工業生産と国民生活を関連付けて考えたりして，調べたことや考えたことを表現することである。

自然災害に対し…
様々な協力をして対処してきたこと
今後想定される災害に対し，様々な
備えをしていること

製造の工程に着目するとは，工業生産における原材料の確保，生産から出荷までの仕事の工程について調べることであり，工場相互の協力関係に着目するとは，関連工場の計画的，効率的な部品生産の工夫や努力，大規模な工場と関連工場との結び付きについて調べることであり，優れた技術に着目するとは，産業用ロボットなどを活用したオートメーションなど大規模工場の生産システム，消費者の需要や社会の要請に応える生産の仕方，中小工場での技術を生かした生産の様子，新しい分野に挑戦する研究開発などについて調べることであり，このようにして調べたことを手掛かりに工業生産に関わる人々の工夫や努力を捉えることができるようにする。

過去に発生した地域の自然災害
関係機関の協力に着目する
↑
地震？ 風水害？ 火山？ 雪害？

その（工業生産に関わる人々の）働きを考え，表現するとは，例えば，工業生産の仕事の工夫や努力と消費者の需要や社会の変化を関連付けて，工業生産に関わる人々の働きを考え，文章で記述したり，図表などにまとめたことを基に説明したりすることである。

イの(イ)の製造の工程，工場相互の協力関係，優れた技術などに着目して，工業生産に関わる人々の工夫や努力を捉え，それらの人々の働きを考え，表現することとは，社会的事象の見方・考え方を働かせ，工業生産に関する人々の工夫や努力について，例えば，工業製品はどのような働きや役割があるか，工場はどのような働きや役割があるか，どのような技術・設備で生産されているか，どのような災害に備えているか，などを調べたり，工業生産と国民生活に関連付けて考えたりして，調査や調べたことを表現することである。

製造の工程に着目するとは、工業生産における原材料の確保、生産から出荷までの仕事の工程について調べることであり、過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力に着目する。

地震 風水害 火山 雪害

自然災害

(3) 自然災害から人々を守る活動について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

どのような視点で

どんなことを考えればいいのか…

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解すること。

(イ) 聞き取り調査をしたり地図や年表などの資料で調べたりして、まとめること。



イ 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

(ア) 過去に発生した地域の自然災害，関係機関の協力などに着目して，災害から人々を守る活動を捉え，その働きを伝え，表現すること。

社会科の見方・考え方

歴史

(3) 自然災害から人々を守る活動について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えを理解すること。

(イ) 聞き取り調査をしたり地図や年表などの資料で調べたりして、まとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、災害から人々を守る活動を捉え、その働きを考え、表現すること。

協力関係

自然災害

地域の人々の活動

関連付け

比較

自然災害

総合

(3) 自然災害から人々を守る活動について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解すること。

(イ) 聞き取り調査をしたり地図や年表などの資料で調べたりして、まとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、災害から人々を守る活動を捉え、その働きを考え、表現すること。

地震火害

津波火害

火山火害

雪害

風水害

単元（小単元）が終わったあとに

過去に発生した地域の自然災害
関係機関の協力

に着目し

様々な協力をして対処してきたこと
今後想定される災害に対し，様々な
備えをしていること

ということが理解できているか

単元（小単元）が終わったあとに

過去に発生した地域の自然災害
関係機関の協力

に着目し

様々な協力をして対処してきたこと
今後想定される災害に対し，様々な
備えをしていること

ということを理解するために

単元（小単元）が終わったあとに

過去に発生した地域の自然災害
関係機関の協力

概念

様々な協力をして対処してきたこと
今後想定される災害に対し，様々な
備えをしていること

ということを理解するために

単元（小単元）が終わったあとに

過去に発生した地域の自然災害
関係機関の協力

概念

様々な協力をして対処してきたこと
今後想定される災害に対し，様々な
備えをしていること

ということを理解するために

本時があるという意識

学習指導要領から…

単元の目標（内容）

単元の学習問題

予想・計画：問題解決の見通し

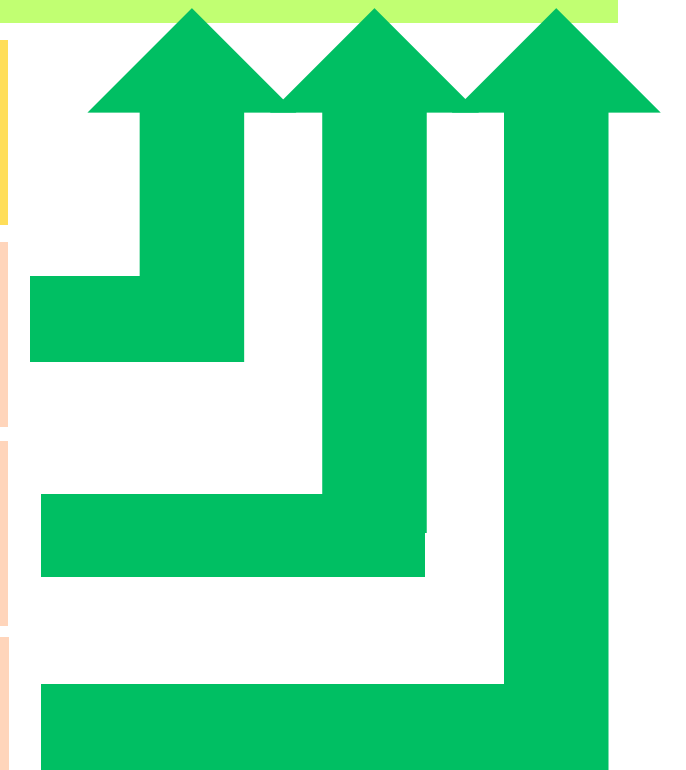
問い①

問い②

問い③

：

単元のまとめ
単元の学習評価



小学校社会の内容



全体概要



見えた課題は？

課題のある設問から見えた課題をお伝えいたします



ポイント①

資料の読み取りの技能指導していますか？



ポイント②

概念の獲得を目指していますか？



インタラクション②

本日の個人的キラーワード
(2学期以降の授業について)

e x .

キラーワードは、
「学びの手引き」。
これまで、教科書のその
部分をそこまで意識して
いなかった。



キラーワードは、「概念」。
2学期以降、単元の学習問
題を毎時間伝えるなどして
意識できるようにする。



小学校社会の内容



ポイント①

資料の読み取りの技能
指導していますか？



ポイント②

概念の獲得を目指して
いますか？

小学校社会の内容



ポイント①

資料の読み取りの技能
指導していますか？



ポイント②

概念の獲得を目指してい
ますか？

御清聴ありがとうございました。

